


取扱説明書 電動ハイブリッド自転車

品 番 BE-EPM633

**自転車のルールを守って、安全走行**

- 止まって確認、らくらく発進
- ライトをつけて、らくらく走行

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック サイクルテック株式会社（およびその関係会社）は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

修理・取扱い・手入れなどは**まず、お買い上げの販売店へ**ご相談ください。

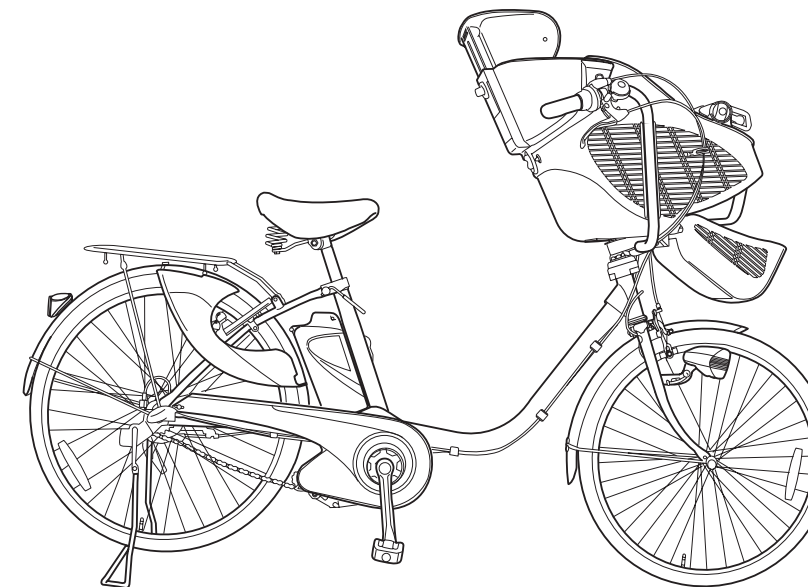
転居や贈答品でお困りの場合は、下記窓口にご相談ください。

最新のお客様ご相談窓口はホームページをご覧ください。

パナソニック サイクルテック株式会社

〒582-8501 大阪府柏原市片山町13番13号

Lithium ViVi CHILD



※イラストは、イメージ図を使用しています。形状やデザインが、お買い上げいただいた自転車と異なる場合があります。

お願い

この自転車は、散歩、買い物などの日常生活用として設計されています。
新聞配達など、業務用としてご使用にならないでください。

お知らせ

- この自転車には、幼児用座席が装備されています。（詳しくは、本書の24ページをご覧ください。）
- リヤキャリア取付式幼児用座席も取付けることができますが、一度に乘せることができる幼児は一人だけです。（詳しくは、本書の24・28ページをご覧ください。）

このたびは、電動ハイブリッド自転車をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（4～8ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

製品を他の人に譲渡される場合は、この取扱説明書を一緒にお渡し願います。

保証書別添付

- 保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの、記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。（記入がない場合は、無効となります。）
- 必ず、販売店で防犯登録の申請手続きを行ってください。（法律で義務付けられています。）
- ★幼児を乗せて使用される場合は、年令等制限があります。（詳しくは、本書の24ページをご覧ください。）

お買い求めいただいた自転車は、幼児用座席付電動ハイブリッド自転車です。
電動ハイブリッド自転車は、普通の自転車と異なった部分があります。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく、安全、快適にお乗りください。

◆お買い求めいただいた幼児用座席付電動ハイブリッド自転車の特長

① 免許証が不要です。

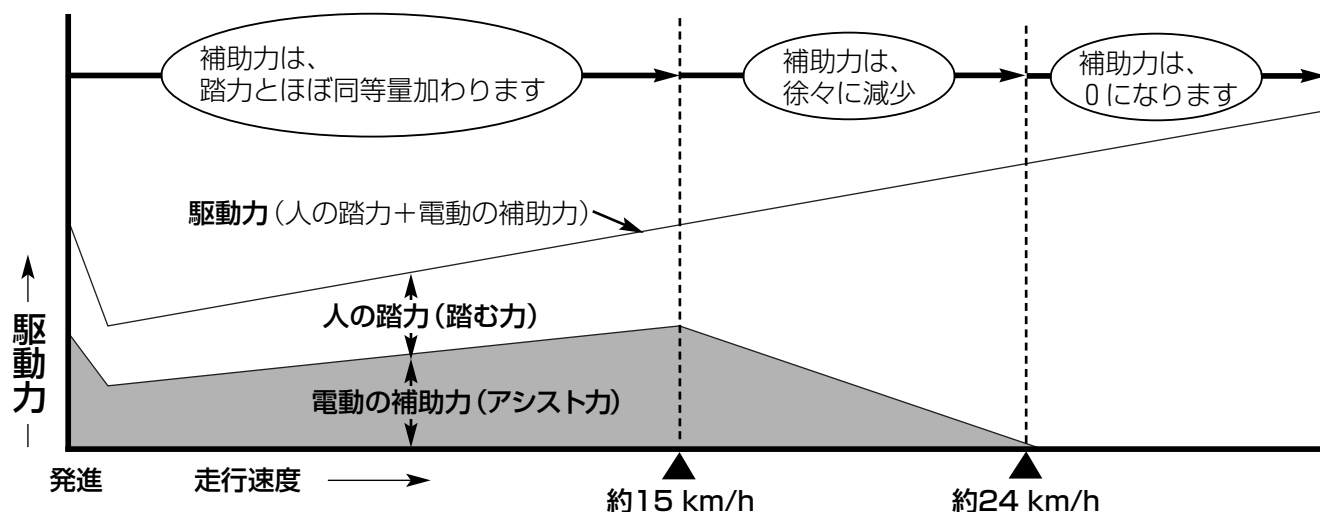
電動ハイブリッド自転車は、運転免許証無しで乗ることができます。

② 電動補助力の働きで楽に乗れます。

ペダルを踏むと瞬時に補助力が働き、自転車の約半分の踏力で走行できます。

☆ 乗る人の踏力、道路の状況、積載荷物の質量等の条件により楽になる度合に差が生じます。

☆ 電動補助力の大きさと補助速度範囲は、アシストモード、変速位置、走行速度により変化します。



③ バッテリーが切れても、普通の自転車として走行できます。

④ アシストモード切替機能が付いています。

手元スイッチの切替で、平地の低燃費走行から急坂でのパワフル走行まで自動制御する「オートマチックモード」が付いています。

⑤ リチウムイオン電池を使用しています。

メモリー効果*の心配がなく、軽量で安全性に優れたマンガン系リチウムイオン電池を搭載しています。

※メモリー効果とは、継ぎ足し充電を何度も繰り返すことで見かけ上のバッテリー容量が低下する状態のことです。

⑥ 新SG規格適合ヘッドレスト付き幼児用座席を搭載しています。

お子様の頭部を保護するヘッドレストを装備した幼児用座席を搭載しています。

⑦ 電源がオフの状態でもライトが点灯します。

電源がオフの状態でも点灯が可能な、独立点灯式LEDライトを搭載しています。

お知らせ

●次のようなときは電動補助力（アシスト力）は働きません。

○時速が24 km/h以上のとき。

○ペダルを踏む力が弱いとき、または、ペダルの回転を止めているとき。

○バッテリーの残量がなくなったとき。

もくじ

はじめに

- 安全上のご注意(1)(2)(3) 4
- 各部のなまえ(1)(2)(3) 9

充電のしかた

- 充電しましょう 14

乗るまえに

- 乗るまえの点検と調整(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7) 16
- 乗るまえの確認(バッテリーの残量) 30
- 乗るまえの確認(走行距離の目安) 31

乗りかた

- さあ、乗りましょう！(1) 32
- さあ、乗りましょう！(2)(変速機とアシストモードの使いかた) 34

乗ったあと

- 乗ったあとの駐輪・施錠 36

必要なとき

- バッテリーについて 37
- お手入れ／保管／廃棄 38
- 注油について 39
- 定期点検／アフターサービス 40
- 盗難補償／点検整備済TSマーク(保険付き)のご紹介 41
- 故障かな?! 42
- 仕様 44




安全上のご注意(1) 必ずお守りください





はじめて

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

| | |
|---|--|
|  危険 | この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことがありかつその切迫の度合いが高い危害の程度」です。 |
|  警告 | この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。 |
|  注意 | この表示の欄は、「障害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。 |

| | |
|--|-------------------------------|
|  | この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。 |
|   | このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |
|  | この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。 |

**危険**

**火中に投げ入れたり加熱しない**
破裂によりけが、火災のおそれがあります。

**分解や改造はしない**
分解禁止
発熱、発火、感電のおそれがあります。

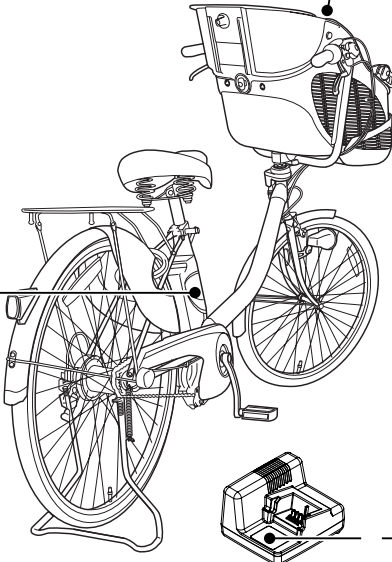
**他の機器に使用しない**
専用の充電式電池
発熱、発火、感電のおそれがあります。

**(+)と(-)を金属等で、接触させない**
発熱、発火、感電のおそれがあります。

**充電には、専用の充電器を使用する**

**衝撃を与えたり、落下させない**
発熱、発火、破裂のおそれがあります。

バッテリー(電池)





**警告**

**水を入れたり、水中に投下しない**
端子部から水を入れるとショートして、発熱し、火災の原因になります。


**傷ついたまま使用しない**
ケースなど、破損したまま使用すると液漏れのおそれがあり、目に入った場合失明するおそれがあります。


はじめて

**警告**


**サドルやハンドルは「はめ合せ限界標識」が見える状態で乗らない**
サドルやハンドルの折れにより、転倒や衝突のおそれがあります。


**改造や分解、また指定以外の注油はしない**
分解禁止
注油禁止
部品の破損や、ブレーキが効かなくなると転倒や衝突のおそれがあります。

**ハブステップなどの突出物を装着しない**
歩行者などに危害をおよぼすおそれがあります。
ハブステップ

**調整後の締め付けを確認せずに乗らない**
(車輪の脱着やサドル・バッテリーライトなど)
車輪などが外れて、転倒のおそれがあります。

**警告**


**分解や改造はしない**
分解禁止
発熱、発火、感電のおそれがあります。

**衝撃を与えたり、落下や水濡れをさせない**
発熱、発火、感電のおそれがあります。


**専用電池以外の充電には、使用しない**
電池の液漏れ、発熱による火災のおそれがあります。

**電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない**
(傷つけたり加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)
傷んだまま使用すると、感電・ショート・発火の原因になります。
●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

**コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない**
たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。


**充電端子や電源プラグのほこり等は定期的にとる**
ほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
●電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。


**ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない**
ぬれ手禁止
感電のおそれがあります。

**電源プラグは根元まで確実に差し込む**
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

**幼児やペットが触れる所に放置しない**
感電・けがの原因になります。

**充電中はカバーをしたり、上に物を置かない**
内部が発熱し、火災のおそれがあります。

**注意**

**充電中は長時間、皮膚の同じ場所で触れない**
充電中は、40℃～60℃になる場合があります。低温やけどのおそれがあります。

安全上のご注意(2) 必ずお守りください

けがをせずに、他の人にも迷惑をかけないために、乗り方や交通ルールを守りましょう。

はじめて

はじめて

交通事故を防ぐために

自動車や子供に注意！
安全を確認し、乗りましょう

車の横を走る
ときに！



開くドアや人の飛び出しに注意する

子供の飛び出しに注意する

学校や公園が
近くにある
ときに！



交差点を通る
ときに！



左折車に巻き込まれないように注意する

転倒事故を防ぐために

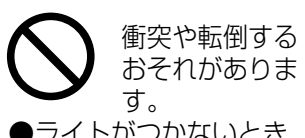
こんな時

■雨・風・雪のひどいときは乗らない



バランスを崩し、転倒のおそれがあります。

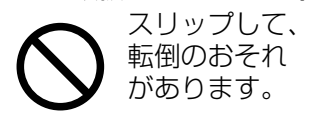
■夜間や視界の悪いときは、無灯火で乗らない



衝突や転倒するおそれがあります。
●ライトがつかないときは、押して歩いてください。無灯火での乗車は、法律違反になります。

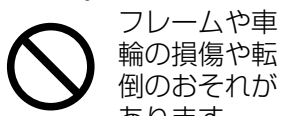
こんな場所

■滑りやすいところでは乗らない
(積雪や凍結した道、鉄板やぬかるみなど)



スリップして、転倒のおそれがあります。
●降りて、押して歩いてください。

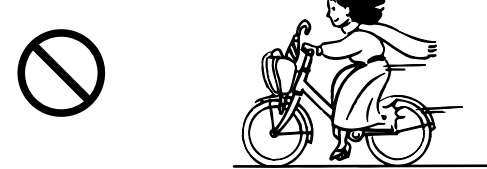
■凹凸の激しいところを走らない
(歩道の段差や、溝など)



フレームや車輪の損傷や転倒のおそれがあります。
●降りて、押して歩いてください。

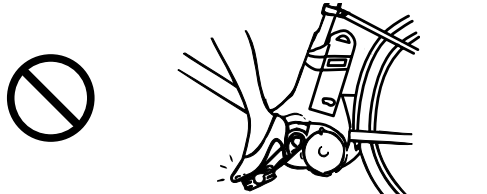
こんな乗り方

■巻き込みやすい物を車輪やギヤに近接させて乗らない
(長いスカートやマフラー、傘やペットのひもなど)



車輪やギヤに巻き込まれ、転倒のおそれがあります。

■滑りやすい靴や、かかとの高い靴、厚底靴などをはいて乗らない



ペダルから足が外れ、転倒のおそれがあります。

■合図以外は、ハンドルから手を離さない



バランスがとりにくく、転倒のおそれがあります。

■手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつながない



荷物やひもが、車輪に巻き込まれたりバランスを崩し、転倒のおそれがあります。

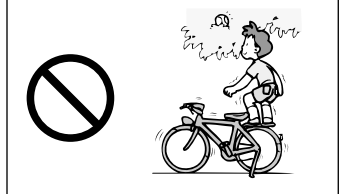
■カーブで曲がる側のペダルを下げない



ペダルが地面と接触し、転倒のおそれがあります。

こんな使い方

■走行以外に使わない
(踏み台代わりなど)



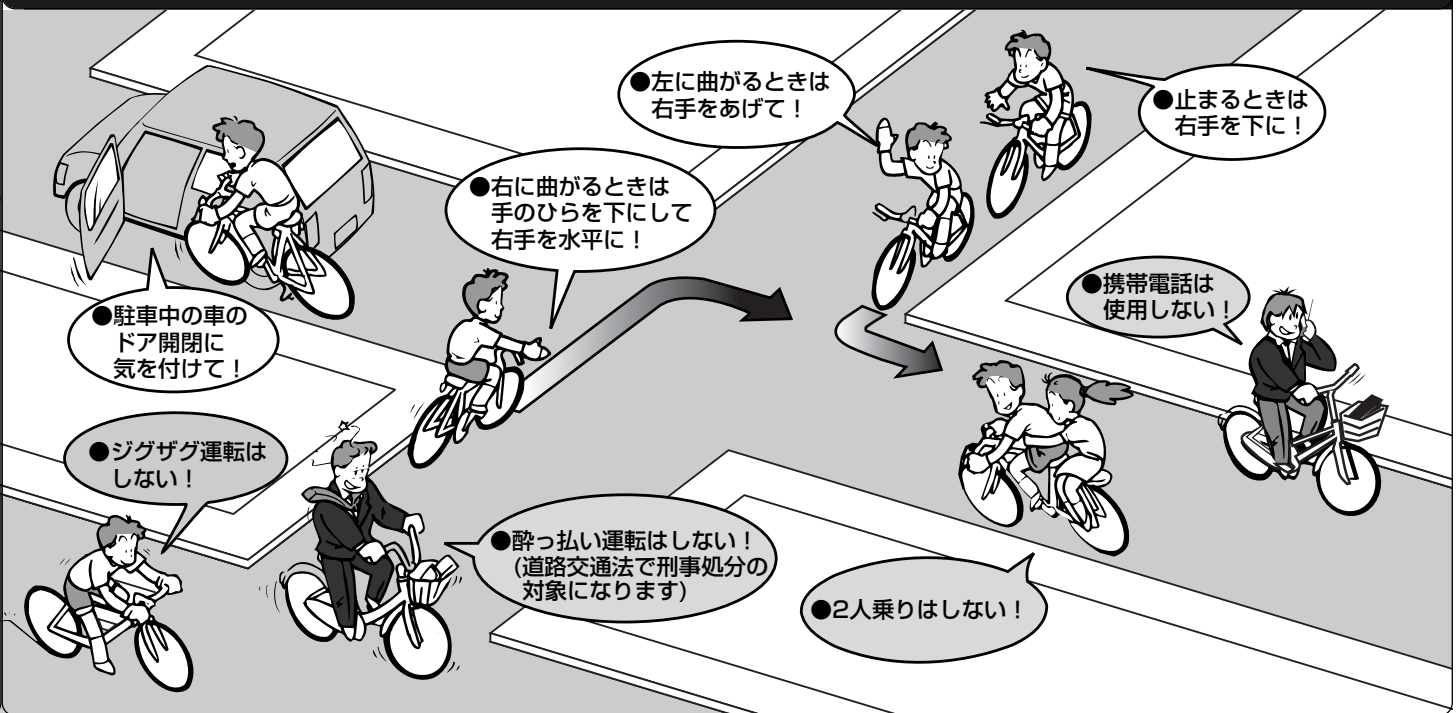
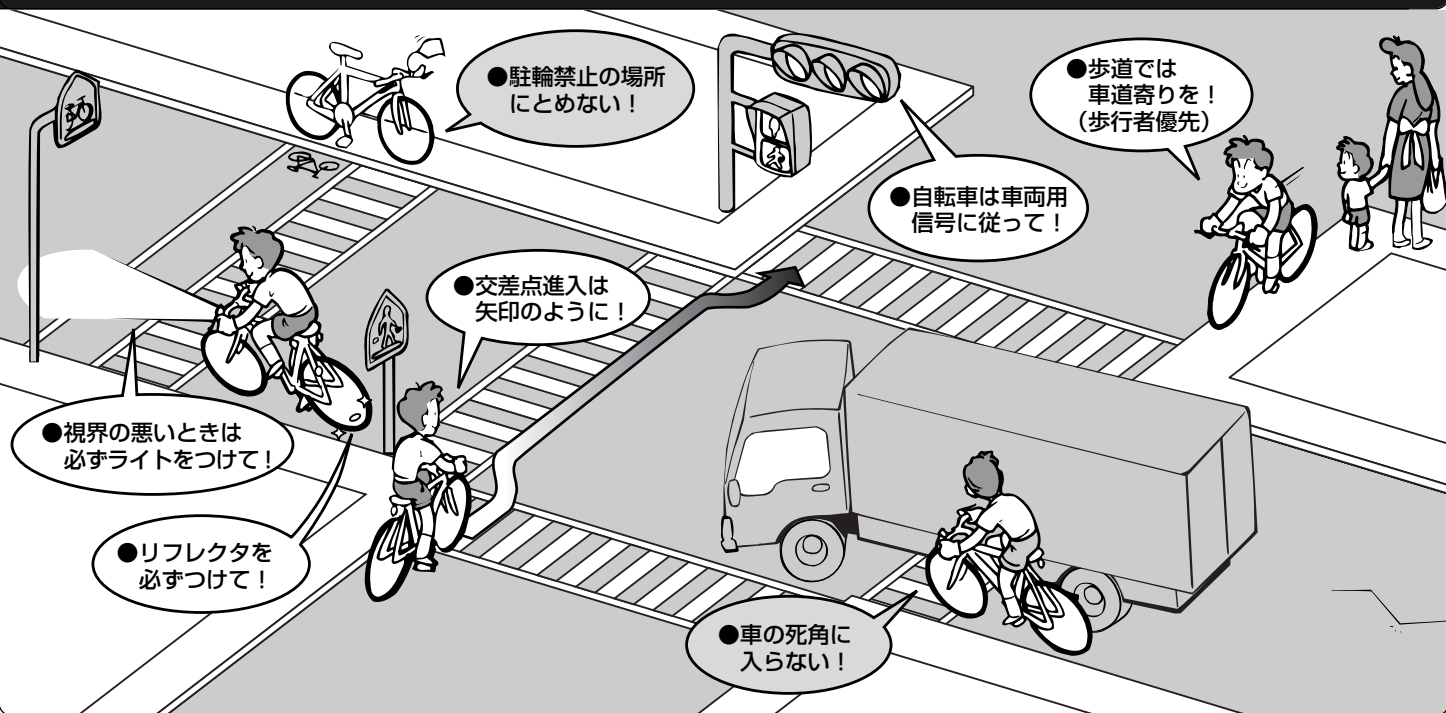
転倒するおそれがあります。

■スポークの間に固形物(ボールなど)を入れて走らない



車輪に巻き込まれて転倒のおそれがあります。

自転車道で走る時のルール・マナー



乗るまえに

まず体に合わせてください

●図のように販売店で調整してもらってください。

●操作して確認してください。

①円滑なペダリングができる。

②ブレーキや変速機が確実に操作できる。

③ハンドル操作が容易にできる。

上体は軽く傾く程度に

ヒジが軽く曲がる程度に

ヒザがハンドルに当たらないように

つま先で踏む

両足が地面に着くように

必ず点検をしてください

●必ず、取扱説明書をよく読んで点検してください。

●わからないときは販売店に相談してください。

●未組立及び未調整の自転車は使用しないでください。

正しい服装で乗ってください

(車輪に巻き込まれやすい服装はしない)

●チェーンやギヤがむきだしの自転車に乗るときは、必ずズボンのすそをズボンバンドで止めてください。

ズボンの汚れやチェーンへの巻き込み、ギヤへのひっかかり等を防止するため。

●サイクリングなどのとき

ヘルメット

手袋

サイクリングシューズまたは運動靴

ショートパンツ

ズボンバンド

乗る練習は必ず行ってください

●練習を空地や公園など安全な場所で、行ってください。

よく練習してから一般道路でお乗りください。

～お子様を乗せて走行するまえに～

お子様を同乗する場合は、ハンドル部分の幼児用座席に乗せて走行するため、慣れるまでは、ハンドルがふらつき、転倒する場合があります。(特に、カーブや下り坂での走行時や、お子様が動かれた時など) また、ブレーキ操作時、制動距離が長くなります。

●車が通らない平坦な場所(公園や広場等)で充分練習をしてください。

お願い

- 幼児用座席にお子様と同じ重さの物(新聞や雑誌等)を積んで走行し、重さに慣れてください。
- 次にお子様を乗せてゆっくり走行し、ハンドル操作を練習してください。
- 停車するときは、先に後ブレーキをかけながら、前ブレーキをかけ、必ず両足を地面につけてください。

お知らせ

- 16歳未満の方は、幼児を乗せて使用することは法令で禁止されています。
- お乗せになるお子様の適応体重は、15kg以下で、身長100 cm以下です。
- お乗せになるお子様の使用年齢範囲は1歳からです。(ハンドル部の幼児用座席を使用する場合)

ハンドル部
(10・11ページ)

サドル

シートポスト

シートピン
[レバー式]

リヤキャリア

ドレスガード

スポーク
リフレクタ

後どろよけ

リヤリフレクタ
(ソーラーテール)
(22ページ)

後ブレーキ

リム

タイヤバルブ

タイヤ

スタンド

前どろよけ

前ブレーキ

フロントリフレクタ

バッテリーライト

スポークリフレクタ

前ホーク

ハブ

スポーク

クランク

ペダル

チェーンケース

チェーン

付属品

自転車本体の他に下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

●充電器

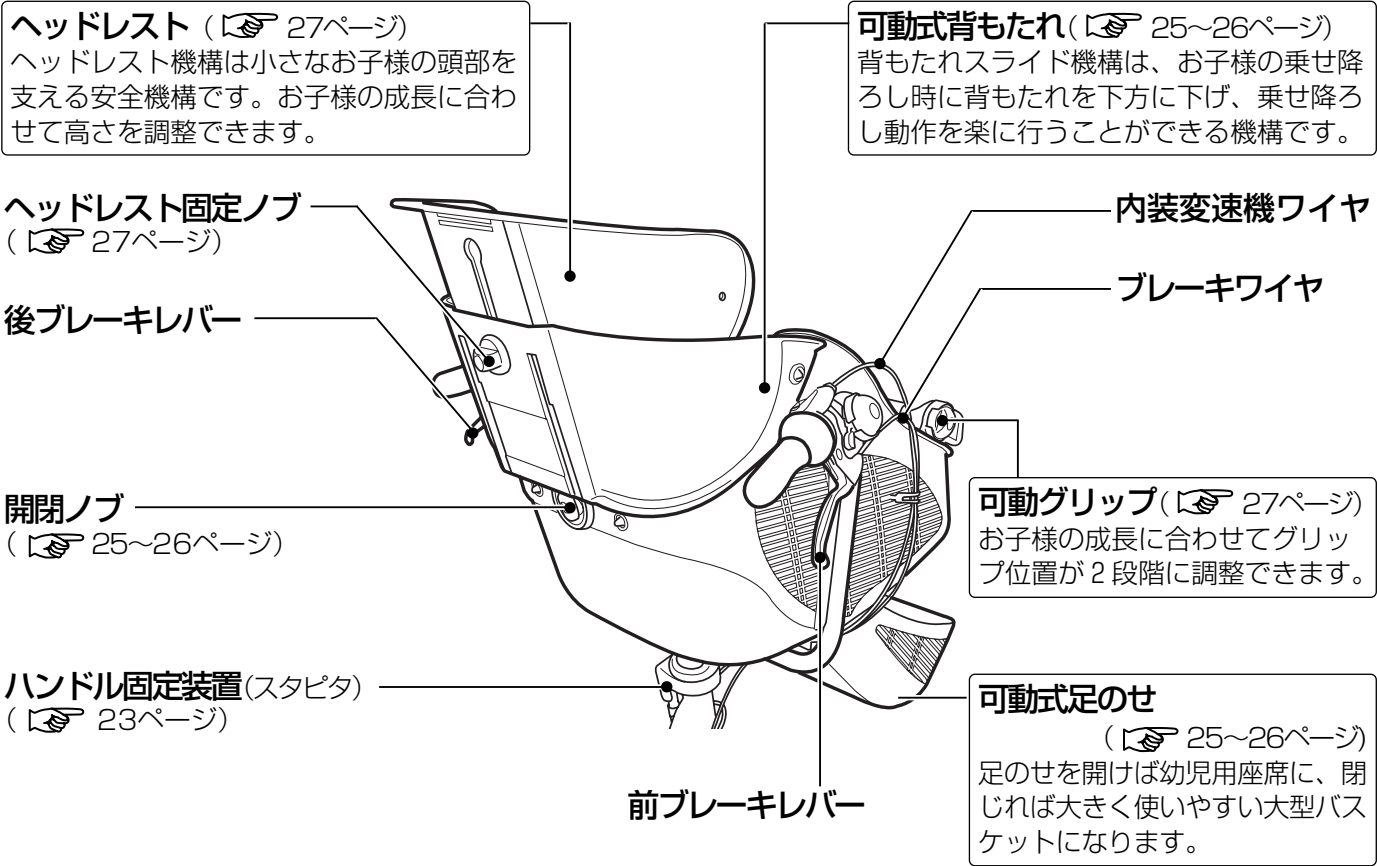
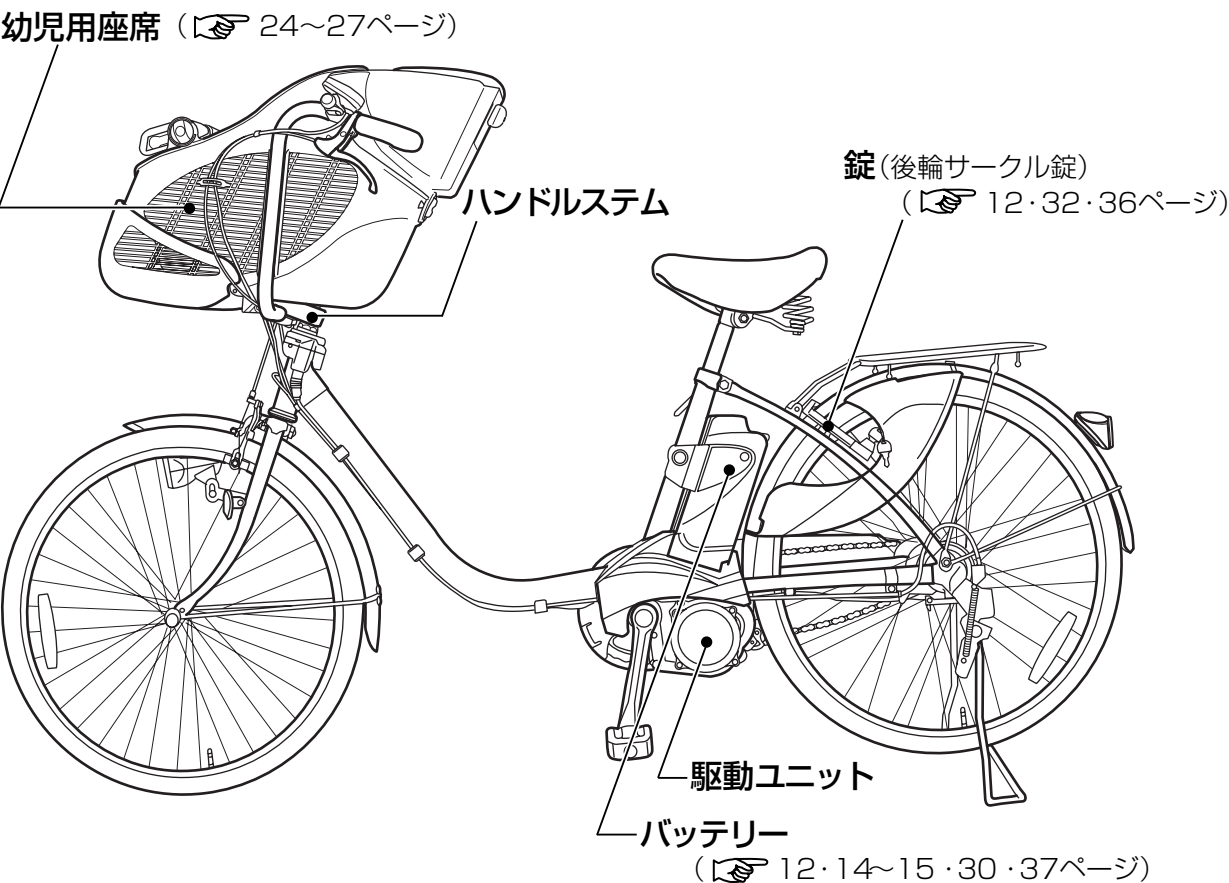
●取扱説明書/保証書

●乗りかたカード

●スペアキー(×2)

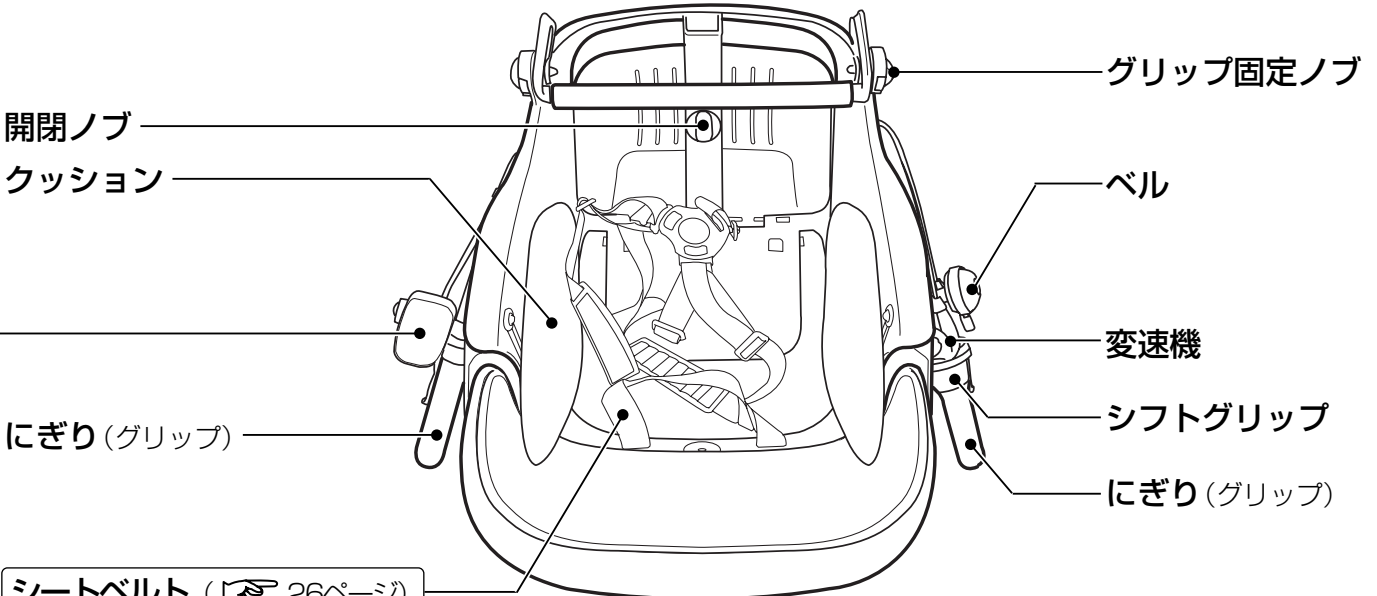
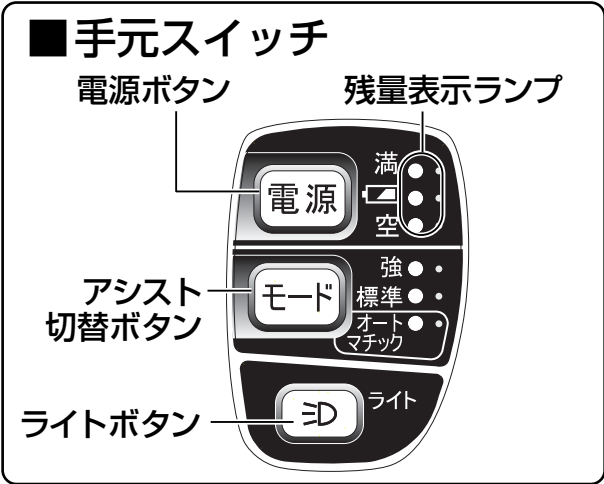
各部のなまえ (2)

は
じ
め
に

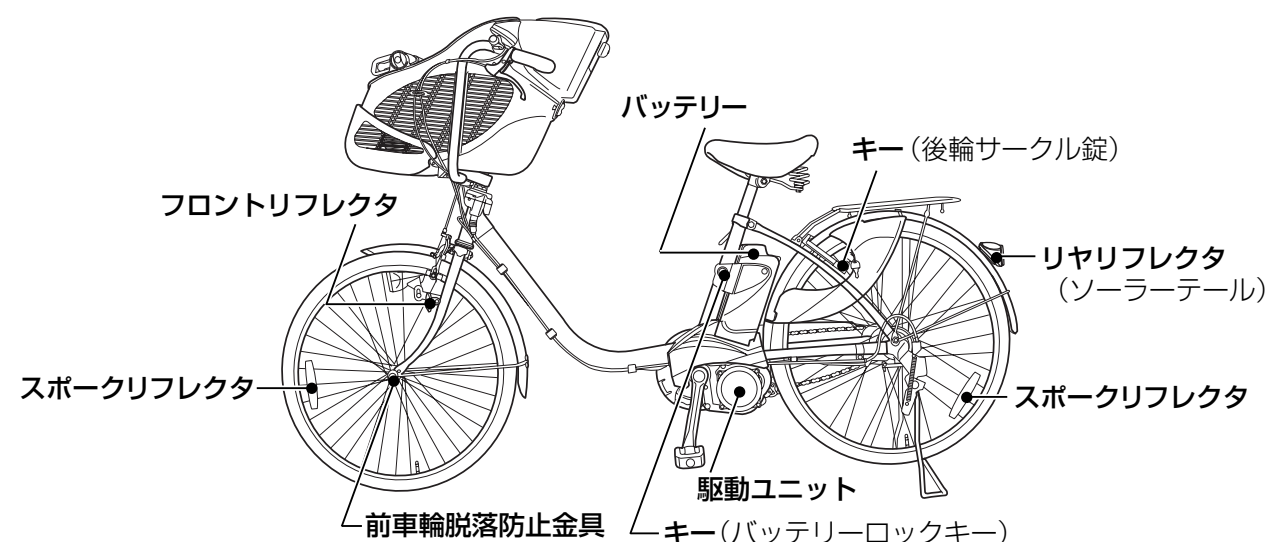


は
じ
め
に

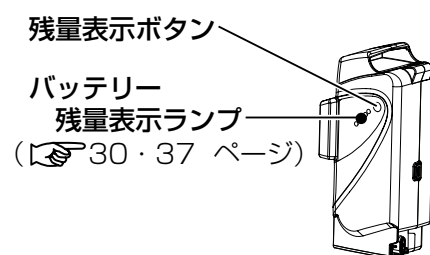
■ハンドル部



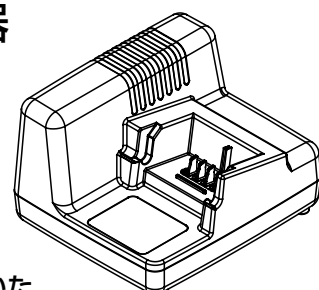
各部のなまえ (3)



■ バッテリー

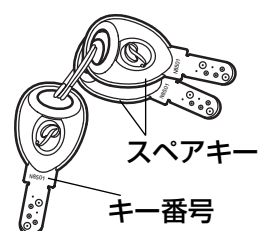


■ 充電器



- 充電のしかた
(14～15 ページ)

■ キー (バッテリーロックキー/後輪サークル錠)



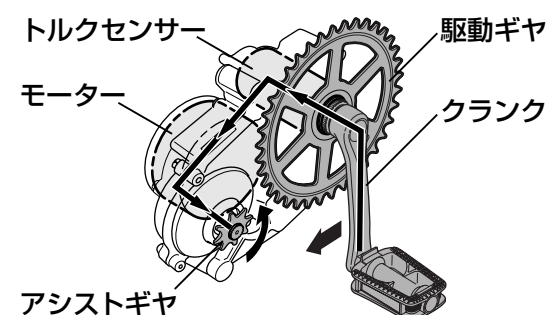
お願い

- キーの番号は、控えておいてください。
(保証書のキー番号欄とこの説明書の43ページの記入欄に記入できます。)
キーを紛失されても、番号がわかればスペアキーをお求めいただけます。
販売店にご注文ください。

お知らせ

- 後輪サークル錠のみ交換された場合は、キーが2種類になります。

■ 駆動ユニット



ペダルの踏力を、クランクを通じてトルクセンサーで感知し、最適なアシスト力をモーターからアシストギヤへ伝えることにより、快適なアシスト走行を実現しています。



警告

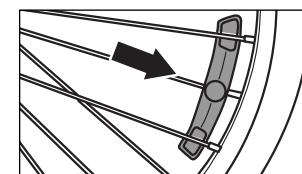


安全装置は取り外さない

外したまま使用すると、事故発生の原因になります。

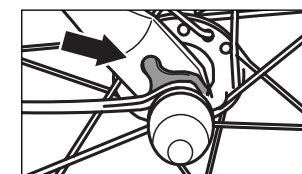
■ 安全装置

スポークリフレクタ



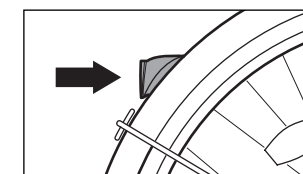
横からの光を反射します

前車輪脱落防止金具



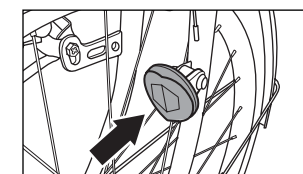
前車輪の脱落を防止します

リヤリフレクタ (ソーラーテール)



後からの光を反射します

フロントリフレクタ (前部反射器)

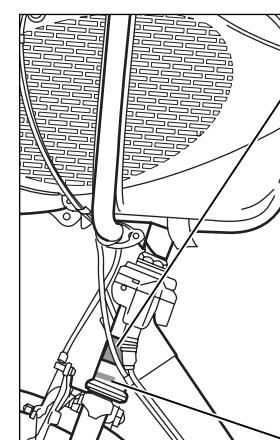


前からの光を反射します

※リフレクタが破損した場合は、直ちに新品と交換してください。
(リヤリフレクタが破損したままでの夜間乗車は法律違反になります。)

■ 品番および型式認定済TSマーク (保険なし)

- この型式認定済TSマークは、国家公安委員会の型式認定を取得した製品にのみ表示する事ができるもので、安心して自転車としてご利用頂ける証明です。
- 右上の英数字は車種品番、左上のTSは型式認定済TSマークを表しています。
- このマークには、交通傷害保険は付帯していません。
保険付きTSマークの貼付については41 ページを参照ください。



はがしたり、傷つけたりしないでください

型式認定済TSマーク

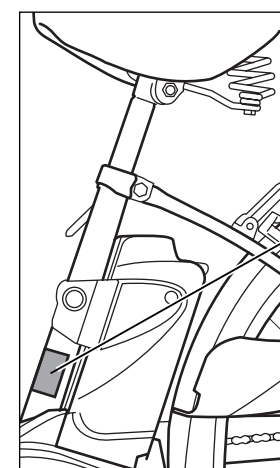


車種品番

■ 車体番号 (刻印位置)

防犯登録に必要で、7文字 (数字と英字) で表示しています。

- この自転車は (社) 自転車協会が定めた自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車です。



自転車安全基準

「自転車安全基準」は、(社) 自転車協会がJIS (日本工業規格) をベースにDIN (ドイツ規格) など海外の規格や粗悪自転車による自転車事故事例等を踏まえて、消費者の安全第一を考えて定めた基準です。

■ BAAマーク



「BAAマーク」は、自転車安全基準に合格した自転車に貼ることができるマークです。

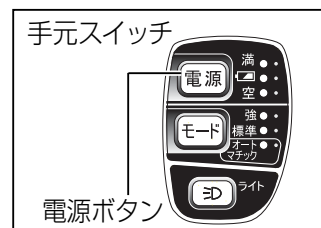
「BAAマーク」は、自転車の立パイプに貼付されています。

※BAA=自転車協会認証—BICYCLE ASSOCIATION (JAPAN) APPROVED

充電しましょう

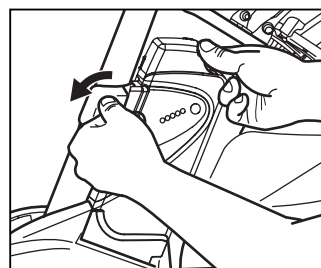
バッテリーは酷暑、酷寒、衝撃を避けるのが上手な使い方です。

1. 手元スイッチの電源を切る

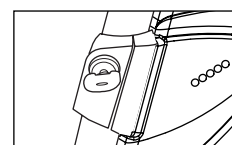
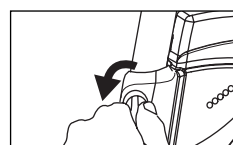


手元スイッチの電源ボタンを押して電源を切る。
(全ランプ消灯)
※電源を切らないとトラブルの原因になります。

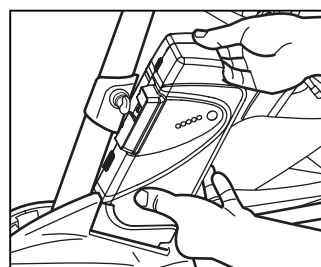
2. バッテリーロックを外し、バッテリーを引き上げる



バッテリーを支え、バッテリーロックキーを反時計方向に90度回す。
(開錠状態のままキーを固定できます。)
バッテリーをゆっくり手前に倒す。



開錠状態のまま
固定が可能
(この状態ではキーは
抜けません)



両手で支えながら引き上げて外す。バッテリーロックキーを時計方向に90度戻しキーを外す。

お願い

- バッテリーを取り外した後、バッテリーロックキーを外し、保管してください。

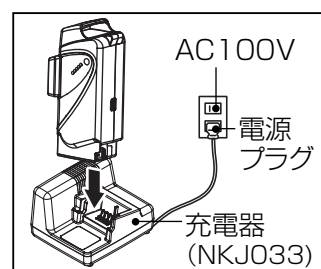
⚠ 注意

■バッテリーを支えてから
バッテリーロックキーをまわす



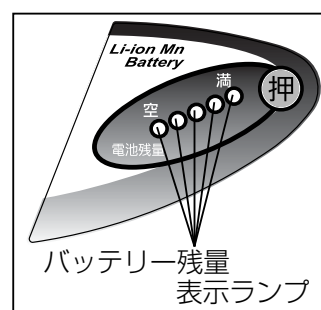
落下し、けがをするおそれがあります。

3. バッテリーを充電器にセットする



電源プラグをコンセント (AC100 V) に差込み、
バッテリーを充電器に奥まで押し込む。

4. 残量表示ランプを確認する



バッテリーの残量表示ランプの点灯 (赤色)を確認する。
(充電状態に応じた表示になります。)

残量表示ランプ点灯・点滅
(充電中)

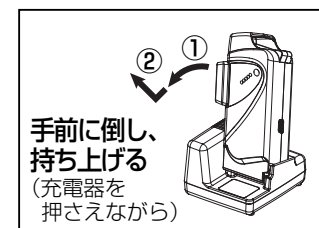
残量表示ランプ消灯
(充電完了)

● 充電時間の目安 (気温 20 °C)

100 %充電まで……約3 時間

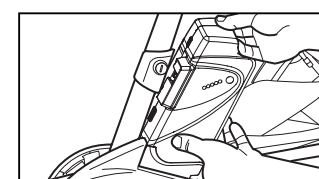
(充電時間は、アシストがなくなるまでバッテリーを使用したときの目安です。)

5. バッテリーを充電器から外す

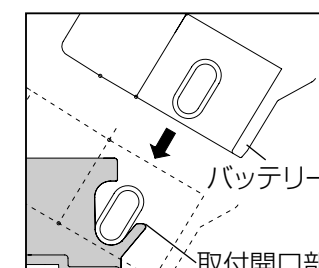


残量表示ランプが消灯 (充電完了) していることを確認し、
充電器を押さえながらバッテリーを外した後、
コンセント (AC100 V) から電源プラグを抜く。
※充電器の待機消費電力は約1.5 Wです。

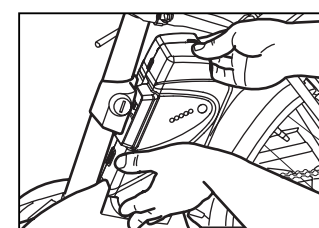
6. 自転車の取付開口部に乗せる



取付開口部にバッテリーを乗せる。
(残量表示ランプのある面を手前にする。)



7. バッテリーを起こす



バッテリーを「カチッ」と音がするまで、垂直に起こす。
(バッテリーのカドを支点にして、弧をえがくように起こす。)

お願い

- 装着後、バッテリーを手前に引いてみて、確実に装着されたことを確認してください。

⚠ 注意

■バッテリーが確実に
装着されたことを確認する



落下し、けがをするおそれがあります。

お願い 充電するときのポイント。

- 初めて乗る時や1ヵ月以上乗られていない場合は、必ず充電してください。(出荷時は、満充電していません。)
- 充電時の周囲気温は、10 °C～30 °Cの場所で充電してください。
- 充電器には、水やほこりがたまらないよう、ご注意ください。
- 充電器は、必ず、外装箱から出して、ご使用ください。(充電中の熱により、ケース等が変形するおそれがあります。)
- 使用しなくても、3ヵ月に一度は充電してください。(37ページ参照)
- テレビ・ラジオなどのそばで充電をすると、雑音が入ったり、テレビの画面がちらついたりする場合があります。その場合は、電化製品から離して(コンセントを変えるなど)充電を行ってください。

お知らせ

- バッテリー保護の為に、満充電からの再充電はできません。
- バッテリー温度が低い場合は、充電時間が長くなります。
- リチウムイオン電池は、メモリ効果がありませんので、リフレッシュ充電は不要です。
- 長くお使いいただく為に上記内容をお守りください。(37ページ参照)

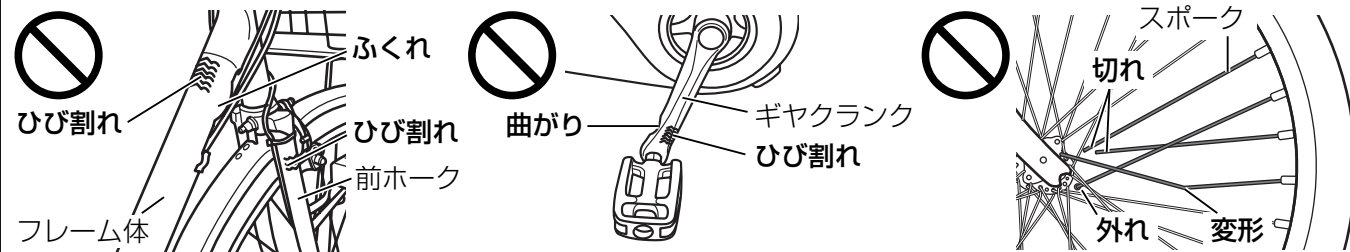
乗るまえの点検と調整（1）

日常、必ず実施する習慣をつけましょう。

安全にご乗車いただくため、乗るまえにつぎの点検、調整と走行テストを実施する習慣をつけましょう。

警告

■ ひび割れや変形したままで走行しない



折れて転倒し、けがのおそれがあります。

- ひび割れや変形を見つけたら、すぐに乗るのを止めて、販売店で点検、交換をしてください。
- 前ホークは衝突などの強い力を受けたとき、変形することによって乗員や車体への衝撃を和らげるよう設計してあります。衝突や転倒など強い衝撃が加わった後は、前ホークに変形やひび割れなどの異常がないか点検してください。
- スポークが1本でも切れたまま使用を続けると、他のスポークに負担がかかり寿命が短くなります。切れたスポークは直ちに交換してください。できれば、すべてのスポークを交換されることをお勧めします。

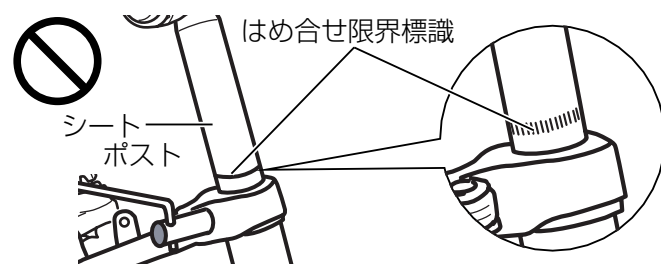
■ ハンドルステムのはめ合せ限界標識が、見えるまで上げない



ハンドルステムが折れて転倒し、けがのおそれがあります。

- ハンドルの高さ調整は、販売店にご相談ください。

■ シートポストのはめ合せ限界標識が、見えるまで上げない



シートポストが折れて転倒し、けがのおそれがあります。

■ 乗るまえの点検は、必ず実施する。

- 前後ブレーキの効き、作動の点検をする。
- ハンドル・ハンドルステムが、確実に固定されているか点検する。
- 前後車輪が、確実に固定されているか点検する。
- 前後タイヤの空気圧が適正か点検する

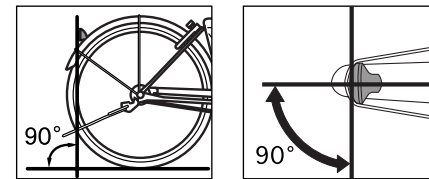
事故や転倒のおそれがあります。

■ 点検で異常があったときは、乗車しない

- 事故や転倒のおそれがあります。
- 異常があったときは販売店にご相談ください。

リヤリフレクタ

◎ 割れや、汚れはないか？

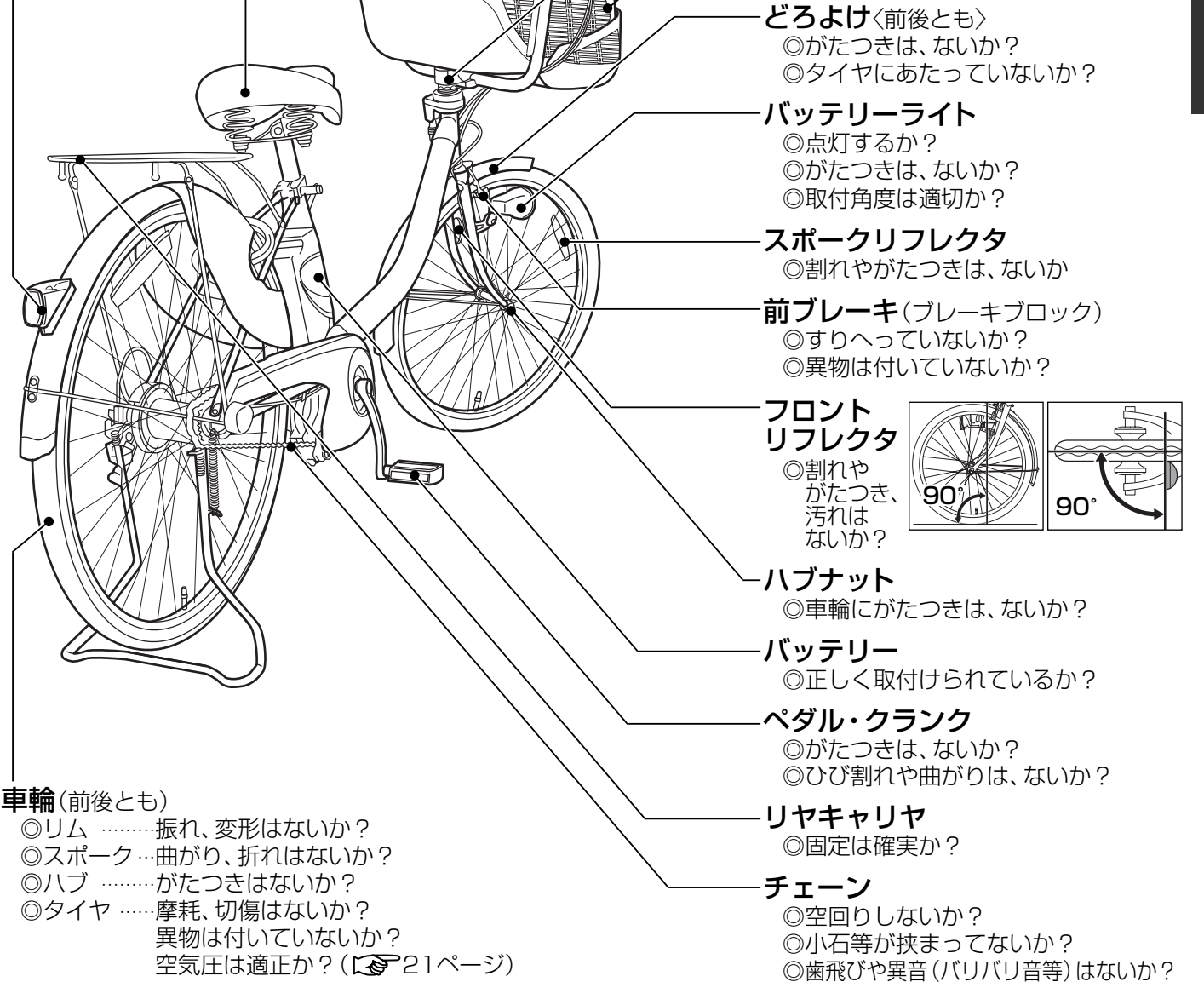


にぎり<左・右>

- ◎ ひび割れはないか？
- ◎ 抜けはないか？

サドル・シートポスト

- ◎ サドルに座って、両足のかかとが、地面に着くか？
- ◎ はめ合せ限界標識が、見えていないか？



車輪 (前後とも)

- ◎ リム …… 振れ、変形はないか？
- ◎ スポーク …… 曲がり、折れはないか？
- ◎ ハブ …… がたつきはないか？
- ◎ タイヤ …… 摩耗、切傷はないか？
- ◎ 異物は付いていないか？
- ◎ 空気圧は適正か？ (21ページ)

ブレーキレバー<前後とも>

- ◎ よく効くか？
- ◎ ワイヤのさびやほつれはないか？
- ◎ 固定は確実か？
- ◎ 作動は円滑か？

ベル

- ◎ よく鳴るか？

ハンドル・ハンドルステム

- ◎ 固定は確実か？
- ◎ はめ合せ限界標識が、見えていないか？

幼児用座席

- ◎ 正しく取付けられているか？

どろよけ<前後とも>

- ◎ がたつきは、ないか？
- ◎ タイヤにあたっていないか？

バッテリーライト

- ◎ 点灯するか？
- ◎ がたつきは、ないか？
- ◎ 取付角度は適切か？

スポークリフレクタ

- ◎ 割れやがたつきは、ないか？

前ブレーキ (ブレーキブロック)

- ◎ すりへっていないか？
- ◎ 異物は付いていないか？

フロントリフレクタ

- ◎ 割れやがたつき、汚れはないか？

ハブナット

- ◎ 車輪にがたつきは、ないか？

バッテリー

- ◎ 正しく取付けられているか？

ペダル・クランク

- ◎ がたつきは、ないか？
- ◎ ひび割れや曲がりはないか？

リヤキャリア

- ◎ 固定は確実か？

チェーン

- ◎ 空回りしないか？
- ◎ 小石等が挟まってないか？
- ◎ 歯飛びや異音 (バリバリ音等) はないか？

■ サドルの調整

● 高さとの調整

- ① レバーをゆるめる。
- ② サドルの高さと向きを調整する。
- ③ レバーを締める。
- ④ がたつきやずれがないことを確認する。

お願い

● 角度の調整は販売店にご相談ください。

● サドルの正しい方向と角度

フレーム
サドル

フレームと平行に合わせる。 サドルの上面と地面を平行にする。

お知らせ

● サドル抜け防止機構のため、サドルを引き抜くことはできません。

警告

■ はめ合せ限界標識が見えるまで上げない

はめ合せ限界標識
シートポスト

■ 調整後はがたつきがないか必ず点検をする

シートポストが折れたり、固定が不安定になり、転倒するおそれがあります。

■ ブレーキの調整

● ブレーキレバーとグリップの間隔

ブレーキレバーとグリップの間隔は、開放時の1/2の位置で、ブレーキが効くように調整する

ブレーキレバー
調整ねじ
(開放時の1/2)
にぎり(グリップ)
(開放時・調整ねじにて調整)

● 前ブレーキ

- ① ロックナットをゆるめる。
- ② 調整ねじを回す。
- ③ センタリング調整ねじで、リムと前ブレーキブロックのすき間が左右均等になるように調整する。
- ④ 走行してブレーキの効きを確認する。
- ⑤ 調整ねじがゆるまないよう、ロックナットを十分に締め付ける。

締付トルク 1 N・m～2 N・m {10 kgf・cm～20 kgf・cm}

⊕ドライバー
調整ねじ
センタリング調整ねじ
リム
前ブレーキブロック
ワイヤキャップ
2 mm～3 mm

締める (効きにくくなる) ゆるめる (よく効く)

● 後ブレーキ (ローラーブレーキ)

- ① ロックナットをゆるめる。
- ② クランクを押しながら、調整ねじを回す。
- ③ ブレーキの効きを確認する。
- ④ 調整ねじがゆるまないよう、ロックナットを十分に締め付ける。

締付トルク 1 N・m～2 N・m {10 kgf・cm～20 kgf・cm}

ロックナット
調整ねじ
クランク
グリス補給口
ブレーキをかけた時、音鳴りがしたり、ブレーキの効きが異常に強すぎる場合、ブレーキグリスの不足が考えられます。販売店でローラーブレーキ専用グリスを補給してください。

ゆるめる (よく効く) 締める (効きにくくなる)

警告

■ ロックナットは確実に締め付ける

ブレーキの調整が狂い転倒や衝突の原因になります。

注意

■ 走行直後は、ブレーキ部に手を触れない


ブレーキ部が高温になり、やけどの原因になります。

接触禁止

■ バッテリーライトの取扱い

● 角度の調整

破損するおそれがありますので、取付ねじをゆるめて、調整してください。




取付ねじ
ゆるめる 締める

使用工具
スパナ (10 mm) 又はボックスレンチ (10 mm)

お知らせ

- 電球の交換はできません。

● 点灯方法



ライトボタン

- ① ライトボタンを押すとバッテリーライトが点灯します。
- ② 再度ライトボタンを押すと消灯します。

※ バッテリーライトは電源の入切に関係なく点灯・消灯することができます。

※ アシストがなくなっても、バッテリーライトは、一定時間点灯し、ゆっくり点滅してから消灯します。

※ 停止して約10分以上経つと、自動的に消灯します。

再度点灯させる時は、ライトボタンを入れ直してください。

■ 空気圧の調整 (前後のタイヤ)

● 適正な空気圧

自転車に乗った状態で接地部の長さが、約10 cm程度が、適正です。

圧力計のついたポンプでは、空気圧の測定が可能です。

300 kPa～450 kPa {3.0 kgf/cm²～4.5 kgf/cm²} が適正です。

ご注意

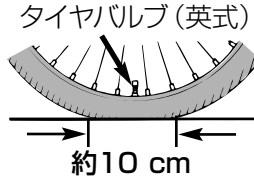
- 空気圧が少ないとパンクや、タイヤ、リムを損傷させる原因になります。
- 長期間使用しない場合は、空気圧は自然に減ります。
- タイヤバルブの型式は、英式です。

お願い

- 上記の空気圧は体重65 kg程度の方が乗車された場合の適正な空気圧です。お子様を乗せて走行する場合は、通常より高い空気圧400 kPa～450 kPa {4.0 kgf/cm²～4.5 kgf/cm²} にて使用してください。

● 空気の入れ方

自転車用のポンプを使って空気を入れます。



タイヤバルブ (英式)
約10 cm

⚠ 警告

■ ライトの取付がゆるんだまま、走行しない

前方を照らす角度がくるい、衝突や転倒のおそれがあります。

● 乗る前に点検してください。

■ 夜間や視界の悪いときは無灯火で乗らない

衝突や転倒のおそれがあります。

● ライトがつかないときは、押して歩いてください。無灯火での乗車は、法律違反になります。

■ タイヤについて

⚠ 警告

■ 走行前にタイヤに異物が刺さっていないか点検する

！ パンクによる転倒の原因になります。

お願い

- ストーブなどの熱源の近くに置かないでください。
- ガソリン・有機溶剤・油類が付着したときは、すぐふき取ってください。

⚠ 注意

■ タイヤの空気圧は300kPa { 3.0kgf/cm² } 以下では使用しない

⊘ タイヤのひび割れ、偏摩耗やパンクの原因になります。

■ チェーンの調整 (ご購入店に依頼してください。)

⚠ 警告

■ チェーンがたるんだまま走行しない

⊘ チェーンのたるみが大きくなると、走行時にチェーンが外れやすくなり危険です。転倒や衝突の原因になります。

■ リヤリフレクタ (ソーラーテール) について

⚠ 警告

■ ボタン電池は次のような使い方をしない

- 充電器等で充電しない
- 新旧・異種の電池を混用しない
- 電池の⊕⊖を逆にして使用しない
- 電池を火の中に投入しない
- 電池をショートさせない
- 使用済電池を使用しない

使い方を誤ると、電池が発熱・液もれ・破裂したり、けがのおそれがあります。

●ソーラーテールの特長

・走行中に周囲が暗くなるとセンサー機能により自動で点滅し、停止すると消灯します。
停止後もしばらくの間 (約1分間) 点滅し続けます。

●太陽電池について

このソーラーテールは太陽電池で内蔵する電池を充電します。

お願い

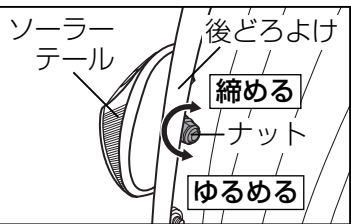
- ご使用前に絶縁シートを引き抜いてください。

お知らせ

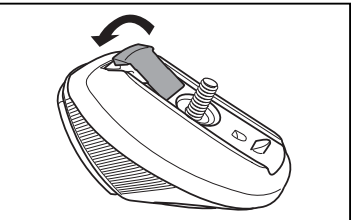
- 太陽電池部を覆ったり、暗い所へ自転車を置くと、充電できずに自動点滅しない場合があります。
日光に当て、充電すると元に戻ります。(曇りまたは雨でも充電は可能です。)

●充電電池の交換方法

- ①後どろよけ裏側のナットをスパナ(8 mm)でゆるめてソーラーテールを取り外す



- ④フタを閉める



お願い

- 充電電池の交換は販売店にご相談ください。

お知らせ

- 連続点滅時間は、約8時間 (直射日光下2時間放置後満充電時、連続点滅) となっておりますが、ご使用の状況により、点滅時間が変わる場合があります。
- 取り替えた電池は、地域で定められた条例に従って、処理してください。
- 電池の寿命は、約2年が目安となっておりますが、ご使用の状況により変わる場合があります。

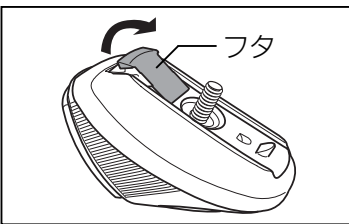
●お手入れ

レンズについた汚れはこまめにふき取ってください。レンズの汚れがひどい場合は、水もしくは中性洗剤の水溶液を布にしみこませてからふき取ってください。

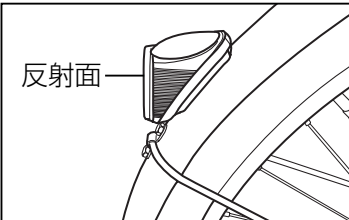
お知らせ

- レンズの汚れがひどいと光センサー受光部に光が届きにくくなるため、明るい昼間でも点滅することがあります。また太陽電池の充電効率も悪くなります。

- ②マイナスドライバー等でフタを開ける



- ⑤後どろよけにソーラーテールを取り付け、裏側のナットをスパナ (8 mm) で締める (反射面後向き)



- ③電池を交換する



締付けトルク：
3 N・m～4.5 N・m
{30 kgf・cm～45 kgf・cm}

■ ハンドル固定装置 (スタピタ) について

⚠ 警告

■ スタピタワイヤは走行中に引っ張らない

■ 走行中にスタンドを立てない

- ハンドルがロックされて転倒するおそれがあります。
- スタンドのバネが弱くなり、ハンドルが固定状態になる場合は、ご使用を中止し、販売店にご相談ください。

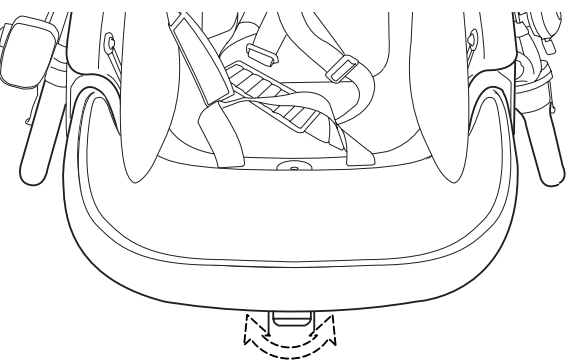
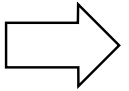
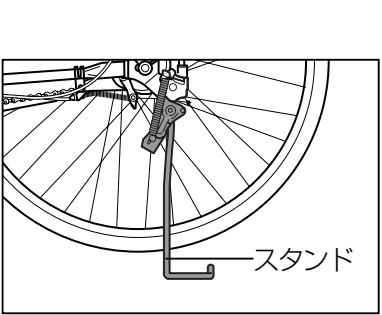
⚠ 警告

■ スタンドを立てた状態で、無理なハンドル操作は行なわない

- ハンドルが固定され、転倒するおそれがあります。

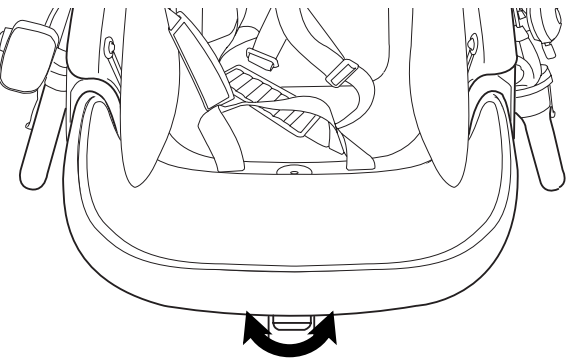
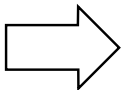
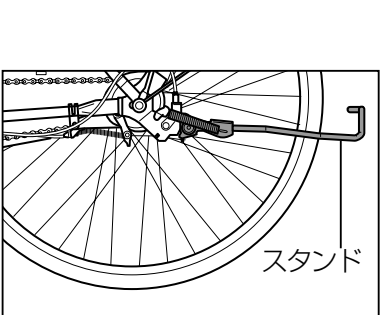
●スタピタとは？

スタンドを立てることにより、ハンドルが自動的に固定される当社独自の機能部品です。
駐輪時のハンドルのふらつきや、回転を防止します。



お知らせ

- 回転方向に強い力を加えると、ハンドルは回転します。



■ 幼児用座席兼大型バスケット

● 幼児用座席として使用するとき

お知らせ

- 16歳未満の方は、幼児を乗せて使用することは法令で禁止されています。
- お乗せになるお子様の使用年齢範囲は1歳からです。
- お乗せになるお子様の適応体重は、15 kg以下で身長100 cm以下です。

⚠ 警告

■ 幼児用座席に幼児を乗せている時は、その場を離れない

⊘ 不安定で自転車が転倒し、幼児が落下してけがをするおそれがあります。

■ 幼児用座席が、自転車に確実に取付けられていることを確認し破損、変形などしたままでの使用はしない

⊘ 幼児が落下して、けがをするおそれがあります。

- 定員、使用年齢範囲、体重制限を守る
- 乗車及び走行中は、必ず幼児にグリップを持たせ寝ないように留意する
- 乗車及び走行中は、必ず幼児にシートベルトを着用させ、正しい姿勢であることを確認する
- 背面の可動式背もたれは、各部に隙間やガタがなく確実に固定されていることを確認する
- ヘッドレストの固定ノブが確実にロックされているか確認する

⚠ 幼児が落下して、けがをするおそれがあります。

- 幼児を乗せる時は必ず靴をはかせる
- 乗車及び走行中は、必ず幼児にヘルメットを着用させる
- ヘッドレストが幼児の頭部中心よりも高くなっているか確認する

⚠ 幼児がけがをするおそれがあります。

■ 急ブレーキ、急ハンドルは避ける

⚠ 転倒や衝突のおそれがあります。

■ 幼児の乗せ降ろしの際は、ハンドルをまっすぐにした状態で平坦な場所に駐輪し、必ずスタンドロックをして行う

⚠ 不安定で自転車が転倒し、幼児が落下してけがをするおそれがあります。

■ 幼児用座席に付いている可動グリップの固定ノブが確実にロックされているか確認する

⚠ 幼児が指をはさみけがをするおそれがあります。

■ 炎天下での駐輪時、幼児用座席が熱くなっているか確認してから幼児を乗せる

⚠ 幼児がやけどをするおそれがあります。

■ 可動式足のせ・可動式背もたれについて

⚠ 警告

■ 可動式背もたれを下げたまま走行しない

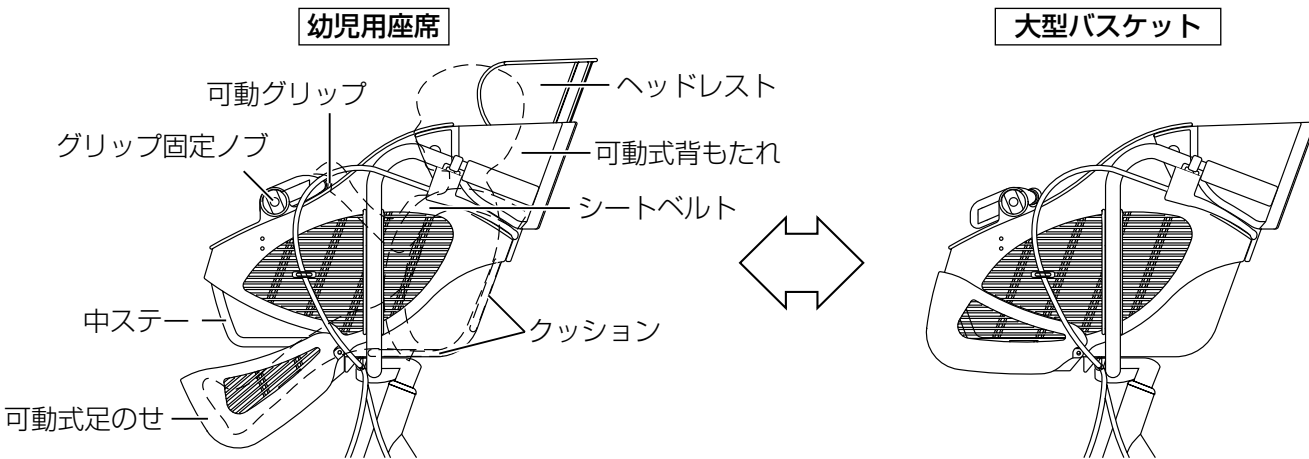
⊘ 幼児が落下して、けがをするおそれがあります。

■ 可動式背もたれが確実にロックされていることを確認する

■ 幼児を乗せたまま可動式背もたれを下げる時は、幼児が落下しないように十分注意する

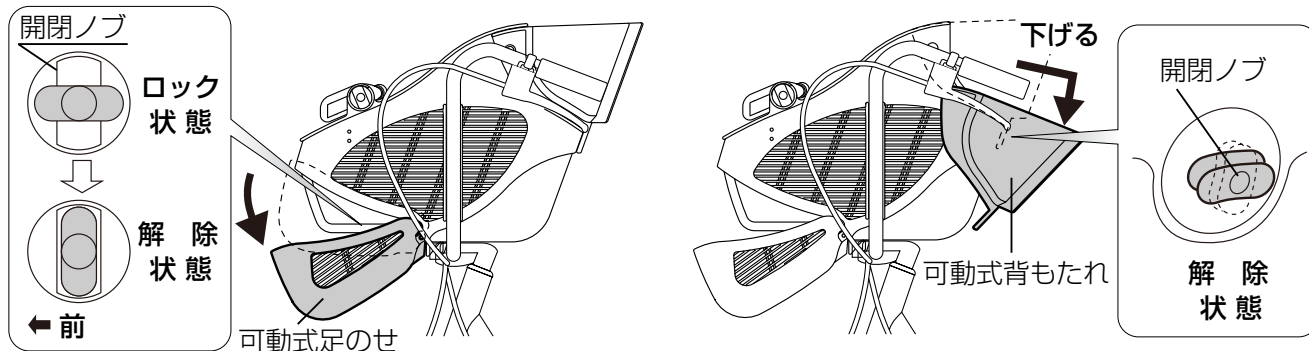
⚠ 幼児が落下して、けがをするおそれがあります。

● 操作により大型バスケットとしてもご利用できます。



● お子様を幼児用座席に乗せるときは、次のようにします。

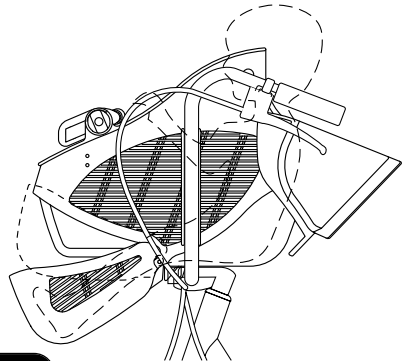
- ① 幼児座席内側の開閉ノブを90度まわして、ロックを解除し、可動式足のせを下げます。
- ② 可動式背もたれの開閉ノブを90度まわして、ロックを解除し可動式背もたれを下げます。



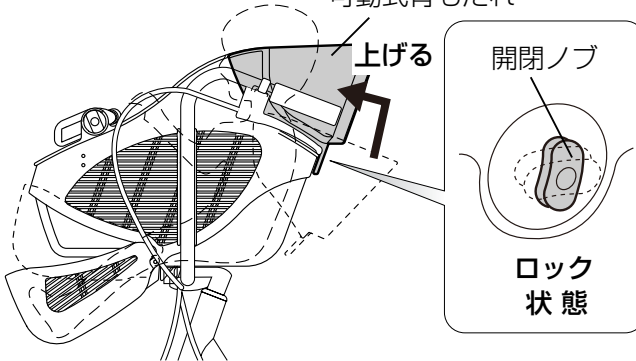
乗るまえの点検と調整 (6)

わからないときは、販売店にご相談ください。

③お子様を着座させシートベルトを装着します。



④可動式背もたれを上げ、開閉ノブを90度まわし、ロックします。



可動式背もたれ
上げる
開閉ノブ
ロック状態

お願い

●お子様を幼児用座席に乗せるときは、荷物等を積んだ後に乗せ、降ろすときは、荷物等を降ろす前にお子様を降ろしてください。

■シートベルトの着脱



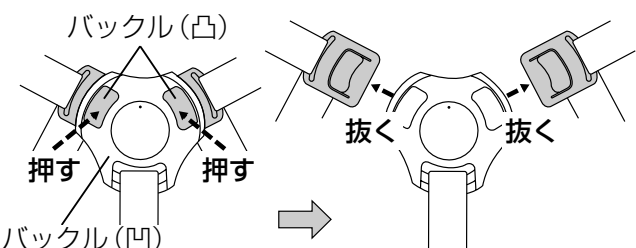
警告

■必ずシートベルトのバックルを外してから幼児を降ろす

！ ベルトが幼児の体に引っかかり、けがをするおそれがあります。

●外すとき

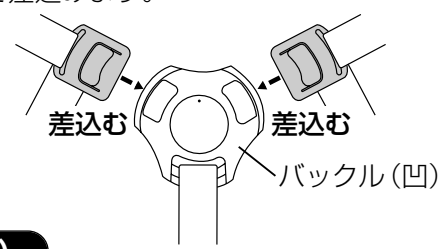
バックル(凹)に差込まれているバックル(凸)の図の部分を押して外します。



バックル(凸)
バックル(凹)
押す
抜く
抜く

●止めるとき

バックル(凸)を、それぞれバックル(凹)にカチッと音がなるまで差込みます。

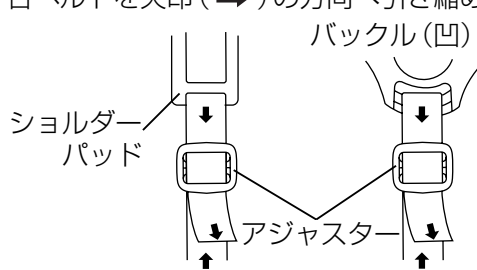


差込む
バックル(凹)

●長さ調節のしかた

締め方

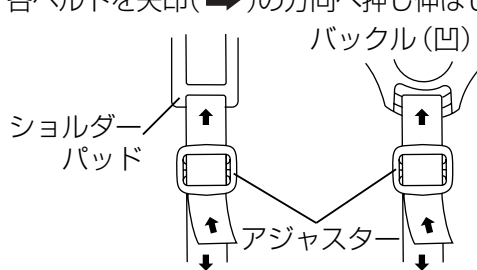
各ベルトを矢印(➡)の方向へ引き締め調整します。



バックル(凹)
ショルダーパッド
アジャスター

伸ばし方

各ベルトを矢印(➡)の方向へ押し伸ばし調整します。



バックル(凹)
ショルダーパッド
アジャスター

お願い

●シートベルトの寿命は約2年です。異常がなくても定期的に適正なシートベルトと交換してください。

■可動グリップの移動

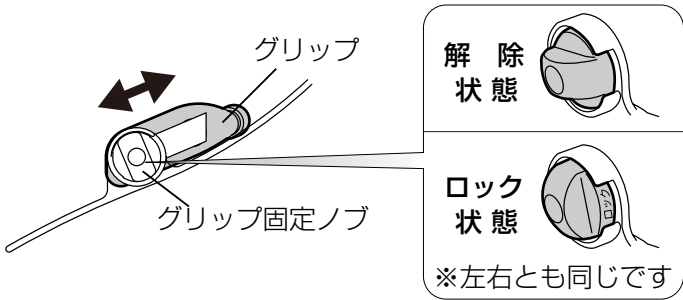


警告

■幼児用座席に付いている可動グリップの固定ノブが確実にロックされているか確認する

！ 幼児が指をはさみ、けがをするおそれがあります。

必要に応じてグリップを移動できます。グリップ両端のグリップ固定ノブを解除してグリップを移動し、再びグリップ固定ノブでロックします。



■ヘッドレストの調整



警告

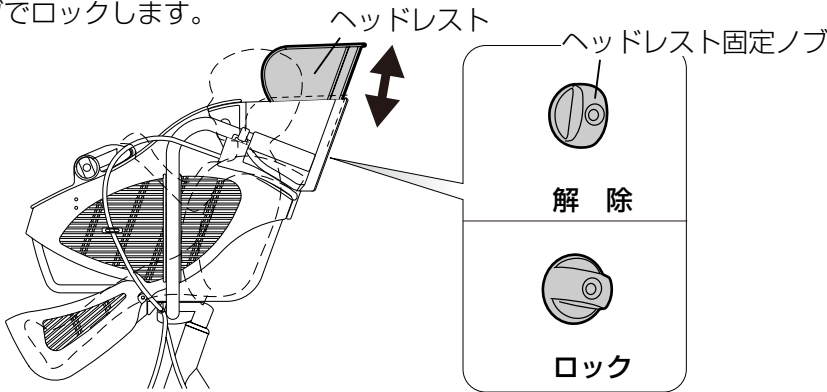
■ヘッドレストは必ずロックされた状態で使用する

！ 不意にヘッドレストが下がり、指をはさんだり、幼児が落下してけがをするおそれがあります

■ヘッドレストが幼児の頭部中心よりも高くなっているか確認する

！ 幼児がけがをするおそれがあります。

必要に応じてヘッドレストが使用できます。背面のヘッドレスト固定ノブを解除してヘッドレストを引き出し、再びヘッドレスト固定ノブでロックします。



■ リヤキャリア取付式幼児用座席のご使用について



警告

- 幼児用座席なしで幼児を乗せない
- 幼児用座席に幼児を乗せている時は、その場を離れない
- ⊘ 不安定で、自転車が転倒し、幼児が落下するおそれがあります。
- 幼児用座席に幼児を座らせている場合、可動部に触れさせない
- ⊘ 車輪やギアに手足を巻き込まれ、けがをするおそれがあります。
- 幼児の乗せ降ろしの際は、ハンドルをまっすぐにした状態で平坦な場所に駐輪し、必ずスタンドロックをして行う
- ⚠ 不安定で、自転車が転倒し、幼児が落下するおそれがあります。
- 乗車及び走行中は、必ず幼児にヘルメットを着用させる
- ⚠ 幼児がけがをするおそれがあります。

お知らせ

- この自転車は、市販のリヤキャリア取付式幼児用座席を取付けることができます。
- 乗せることができるのは、年齢が1歳以上体重15 kg以下で、身長100 cm以下の幼児、一人だけです。

お願い

- 幼児を自転車に乗せる際は、必ず幼児用座席を使用してください。
- 幼児用座席が、自転車に確実に取付けられていることを確認してください。
- 幼児を乗せる時は、必ず靴をはかせてください。
- 幼児はシートベルトで固定し、落ちないように注意してください。
- 詳しくは、販売店にお確かめください。

■ リヤキャリアについて



警告

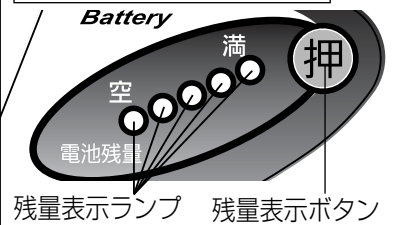
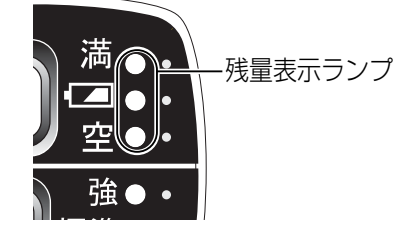

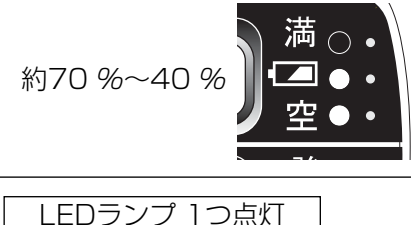
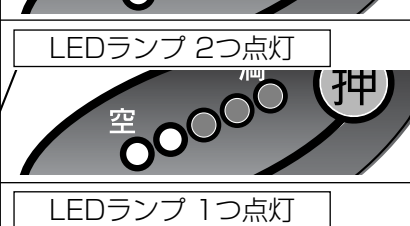
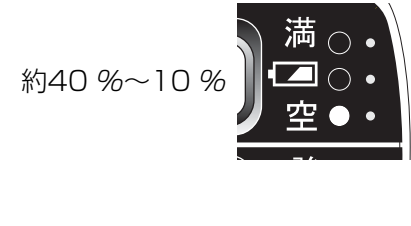
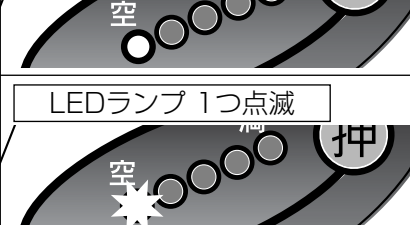

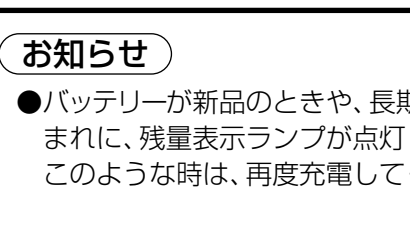

- 積載条件から外れる荷物を積まない
- ⊘ 〈リヤキャリア積載条件〉
 - 高 さ ：30 cmまで
 - 幅・長さ：キャリアの幅・長さプラス10 cmまで
 - 重 さ ：幼児用座席（幼児の体重）・リヤキャリア合わせて22 kgまで
（但し、幼児用座席は15 kgまで。）（クラス表示25）
- バランスを崩し、転倒するおそれがあります。

お願い

- 荷物の運搬には、キャリア及びバスケット以外は使用しないでください。
- 容量の大きいキャリアに交換しても最大積載質量は同じです。

バッテリーの残量と目的地までの距離をよく確認してください。

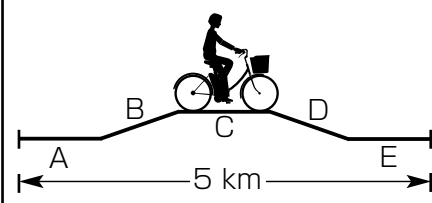
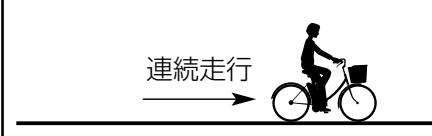


バッテリーの容量が、どの程度残っているか、又はどの程度充電されているかを知ることができます。
バッテリーの残量表示ボタンを押すと、残量表示ランプが、残量を表示します。
(あくまでも目安としてご使用ください。)

| バッテリー部 残量表示ランプの表示状況 | バッテリー残量 | | | | | 手元スイッチ部 残量表示ランプの表示状況 |
|--|---------|----|----|----|------|---|
| | 20 | 40 | 60 | 80 | 100% | |
| LEDランプ 5つとも点灯  | | | | | | LEDランプ 3つとも点灯 約100 %～70 %  |
| LEDランプ 4つ点灯  | | | | | | LEDランプ 2つ点灯 約70 %～40 %  |
| LEDランプ 3つ点灯  | | | | | | LEDランプ 1つ点灯 約40 %～10 %  |
| LEDランプ 2つ点灯  | | | | | | 遅い点滅→ 早い点滅→消灯 約10 %～0 %  |
| LEDランプ 1つ点灯  | | | | | | |
| LEDランプ 1つ点滅  | | | | | | |

お知らせ

- バッテリーが新品のときや、長期間使用されていないとき、又は、厳寒の日や急な坂を登ったときは、まれに、残量表示ランプが点灯していても、補助力(アシスト)が働かないことがあります。
このような時は、再度充電してください。

- 走行距離の目安 満充電後、バッテリーの残量が0になるまでの目安です。(当社の実験より)
走行距離の目安は、次の条件で測定しています。
- バッテリーは新品、気温は常温20℃、車載質量は乗員60kg(荷物は無積載の状態。)
 - バッテリーライトは未点灯、アシスト切替の選択状態は標準モード。
 - 実際の走行距離は、気象、道路、整備、乗り方等の条件により走行距離は変化します。
 - 特に強モードの場合、走行距離は条件により大きく左右されます。目安として標準モードの約70%～80%程度に短くなります。
 - オートマチックモードの場合、走行距離は条件により大きく左右されます。目安として標準モードの約130%～140%程度に長くなります。
 - 各アシストモードについては、34ページをご覧ください。

| 走りかた | 走行距離(km) | | | | | | | 走行条件 |
|---|----------|----|----|----|----|----|----|--|
| | 10 | 20 | 30 | 40 | 50 | 60 | 70 | |
| 標準モード走行 (業界統一テスト条件)  | | | | | | | | Aは、平坦1km、変速③時速15km/h Bは、2度坂1km、変速②時速10km/h Cは、平坦1km、変速③時速15km/h Dは、2度坂1km、変速③時速20km/h Eは、平坦1km、変速③時速15km/h |
| 平坦路  | | | | | | | | 時速15km/h、変速③ |
| 坂道(勾配2度)  | | | | | | | | 時速10km/h、変速② |
| きつい坂道(勾配4度)  | | | | | | | | 時速7km/h、変速[スタート] |

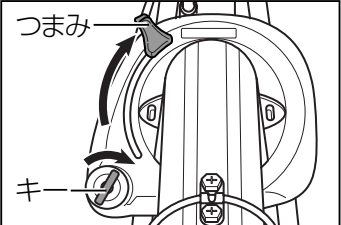
※ 上記「標準モード走行」は業界で統一のテスト条件です。

お知らせ

- 冬期は、バッテリーの特性上、走行距離が短くなります。
- 充電回数の増加と使用期間の経過に従い、1回の充電での走行距離がしだいに短くなります。
- 走行距離は、道路状況や走り方により異なります。
(積載質量が10kg増えた場合、通常にくらべ約10%走行距離が短くなります。)
- ペダルが重くなる使い方ほどバッテリーは早く消耗します。
(走行距離をのばす為には、軽めの変速位置を選んでください。)
- 充電回数が少なくても、長期間の使用により、走行距離が短くなります。

さあ、乗りましょう！（1）

1. 後輪サークル錠を開錠する

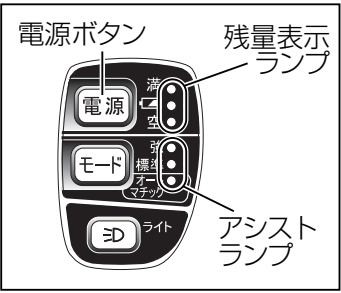


キーを差し込み、時計方向に回す。
(開錠時は、キーが付いたままになります。)

ご注意

- 後輪サークル錠のつまみは、勢い良く戻りますので指を挟まないようご注意ください。

2. 手元スイッチの電源を入れる



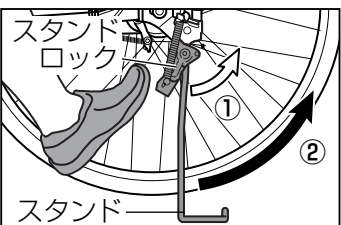
ペダルを踏まずに、手元スイッチにある電源ボタンを押す。

残量表示ランプとアシストランプが全点灯し、約2秒後にアシストランプが1灯点灯し、残量表示ランプが現在のバッテリー残量を表示します。残量表示ランプとアシストランプが交互に点滅する時はペダルに踏力を掛けないで電源を入れ直してください。(42 ページ参照。)

お知らせ

- 停止して10分以上経つと、自動的に電源が切れます。(オートオフシステム)
(再度走行する時は、電源を入れ直してください。)

3. スタンドを上げ、ハンドルがスムーズに回ることを確認し、乗車する。



スタンドロックを解除し、スタンドを後方へ完全にはね上げる。

警告

- スタンドを立てた状態では、乗車をしない
- ハンドルが固定されているため、転倒するおそれがあります。
- スタンドを上げてから乗車してください。
- 走行中にスタンドを立てない
- ワイヤを引っ張らない
- ハンドルが固定され、転倒するおそれがあります。

お知らせ

- スタンドを上げることにより、ハンドル固定が自動的に解除されます。

4. 発進する



前後左右の安全を確認し、ペダルを踏んで発進する。
(電動補助システムが働き、作動音がします。)

警告

- けんけん乗り(けり乗り)しない
- 転倒や接触事故のおそれがあります。
- 必ずサドルにまたがって、発進してください。

※けんけん乗り(けり乗り)とは、
片足でペダルをこぎながら助走し、反動をつけてサドルにまたがる乗り方です。

お願い

- 電源ボタンを押した時に手元スイッチの残量表示ランプが点灯しない場合は、バッテリーの充電や固定が確実にできているかを確認してください。
- 慣れるまでは、踏み始め及び坂道を上がり終えた直後のアシスト力に注意してください。
- 走行途中では電源を入れないでください。
- 停車中は、両足を地面に着けるか、又は、ブレーキをかけた状態にしてください。
- 走行中に通常と異なった音がした場合は、販売店へ相談してください。

お知らせ

- 走行中は、ラジオ等に雑音が入る場合があります。

乗りかた

乗りかた

■ 変速のしかた

**警告**


■ スピードをだしすぎない

 標準常用速度 12 km/h ~ 15 km/h
衝突や転倒による事故の原因になります。

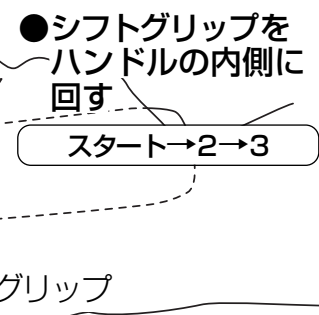
■ 一度に2段以上変速しない

 一気に変速すると、ショックが大きく、転倒するおそれがあります。
● 1段ずつ変速してください。

● シフトグリップを
ハンドルの外側に回す
3→2→スタート



● シフトグリップを
ハンドルの内側に回す
スタート→2→3



インジケーター

シフトグリップ

| インジケーター 位置 | ペダルの回転が | |
|---------------|---------|------|
| | 軽くなる | 重くなる |
| スタート | ↑ | ↓ |
| 2 | | |
| 3 | | |

- お願い
- 変速操作は、よく練習してください。
 - 変速時は、ペダルを止めるかペダルの踏力を少なくして変速してください。（スムーズに変速できます。）

■ アシストモードの切り替えかた（手元スイッチ）

アシスト「強」モード・「標準」モード・「オートマチック」モードの切り替えは、電源が入っていれば、アシスト切替ボタンを押すだけで切り替え（矢印順）ができます。

アシストランプ

「強」


「標準」

「オートマチック」

標準モードより楽に走行できますが走行距離は短くなります。

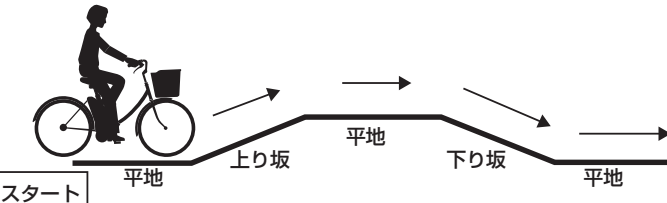
通常はこのモードで走行します。

走行条件によりアシスト力を自動的に変化させ、走行距離を伸ばします。



アシスト切替ボタン

● アシスト力の変化




| モード設定／走行条件 | 走行条件とアシスト力 | | | | |
|------------|------------|----|-----|-------|-----|
| | スタート | 平地 | 上り坂 | 急な上り坂 | 下り坂 |
| 「強」 | 強 | 強 | 強 | 強 | オフ |
| 「標準」 | 中 | 中 | 中 | 強 | オフ |
| 「オートマチック」 | 中 | 弱 | 中 | 強 | オフ |

- お知らせ
- 電源を入れた時は、前回電源をOFFした時のモードで起動します（オートメモリー機能）。坂道や重い荷物を載せて走行する時は、アシスト切替ボタンを押し、「強」モードにしてください。
 - 電動ハイブリッド自転車になれるまでは「標準」、「オートマチック」モードで走行してください。
 - 下り坂等でペダルが軽くなると、すべてのモードで自動的にモーターが止まり無駄な電力消費を抑えます。

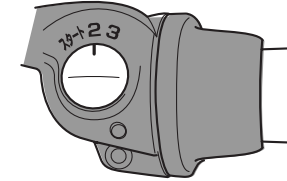
■ 変速機の上手な使いかた

推薦変速位置

平地
を走るとき…




2または3 の位置にあわせる。




発進するときは、スタートにすると楽です。

推薦アシストモード

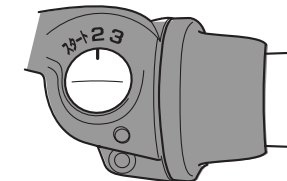
「標準」モード
発進するときは、「強」モードが楽です。



上り坂
のとき…




坂の手前で…
2 または スタート の位置にあわせる。




きつい上り坂のときは、スタートにすると楽です。

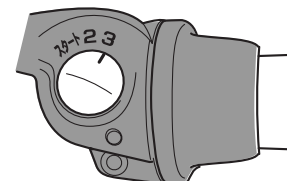
「強」モードにする




下り坂
のとき…



坂の手前で…
3 の位置にあわせる。



「オートマチック」モード

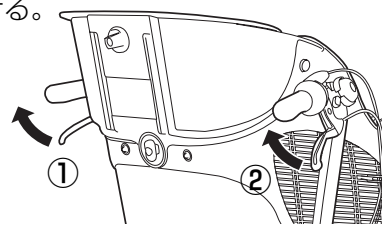


● 楽な走行をするには…

- タイヤの空気圧はいつも適切にしてください。（21 ページ参照）
- 軽めの変速位置を選んでください。（特に発進と上り坂。）
- 変速機やアシストモードは、坂や風の状態、体調等によって、最適の位置を選んでください。


■ ブレーキのかけかた

① 後ブレーキを先にかけてから
② 前ブレーキをかける。




● お願い

- 急な坂道のときは、降りて押してください。
- 下り坂のときは、適時ブレーキをかけながら速度がすぎないように走行してください。

**警告**

■ 雨天時や下り坂ではスピードを出さない

 ブレーキが効きにくく、スリップしやすいため、衝突や転倒するおそれがあります。

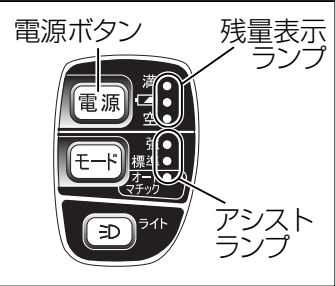
● 下り坂の手前では、ブレーキテストを行ってください。

● 急ブレーキをかけなくてもよいように、いつも前方に注意してください。

乗りかた

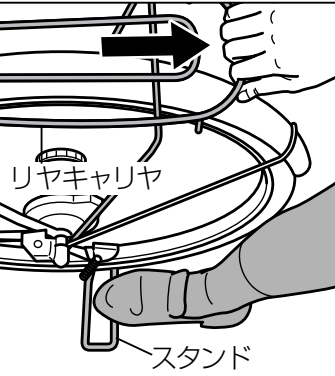
乗りかた

1. 手元スイッチの電源を切る



手元スイッチにある電源ボタンを押して、電源を切る。
残量表示ランプとアシストランプが消灯する。

2. スタンドをたてる



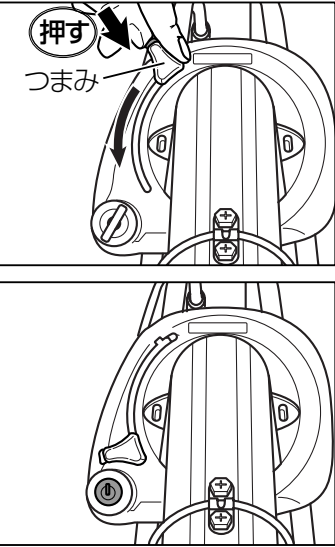
スタンドを足で踏みながら、リヤキャリアを手でひっぱって、スタンドを立てる。
(スタンドロックが自動的にかかることを確認してください。同時にハンドルが固定されます。)

警告

- スタンドを立てた状態で、無理な力を加えない
(自転車を引きずったり、重いものを乗せたりする)
- スタンドを立てた状態で、無理なハンドル操作を行わない

ハンドルが固定され、転倒するおそれがあります。

3. 後輪サークル錠を施錠する



後輪サークル錠のつまみを押し込みながら
下へ止まるまで回し、施錠する。

- キーを抜く。
- お願い**

 - 盗難防止のため、キーを付けたまま駐輪しないでください。
 - 駐輪場など、決められた場所に駐輪してください。
- お知らせ**

 - 開錠方法は、32ページをご覧ください。

バッテリー

■ バッテリーの種類は、リチウムイオン電池です。

- 特徴
- メモリー効果はありません。
 - 冬期は、容量が低下し、走行距離が短くなります。
 - バッテリー温度が低い場合、充電時間は長くなります。
 - ほとんどの部品が、リサイクル可能です。

- 品番
- 仕様表でご確認ください。(44ページ参照。)

■ バッテリーの交換

- お買い求めの販売店にご相談ください。



使用済みの充電式リチウムイオン電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで販売店かリサイクル協力店へお持ちください。

■ 寿命の目安

バッテリー寿命は、約300～400回の充・放電、
使用期間は、約1年半～2年間です。
(走行状況や気温・充電のしかた、使用期間等で異なります)

- お知らせ**

 - 1回の充電で、走行できる距離が著しく短くなったときが、交換の時期です。(新品時の約60%以下)
 - バッテリー寿命の目安と、製品の保証期間とは関係ありません。

■ バッテリーの保管

- 満充電してください。
- 周囲気温が10℃～30℃の場所で保存してください。
- 最低3ヵ月に1回は充電してください。
- バッテリーの残量表示ボタンを押した時に、LEDランプがすべて点灯しない場合、保護回路が働いています。バッテリーを充電器にセットすると解除されます。

お 手 入 れ

■ 日常のお手入れ

- 乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落としてください。洗車は、しないでください。
- がんこな汚れには、台所用洗剤（中性）を薄めてご使用ください。



■ 湿気の多い所や海岸沿いでのお手入れ

さびやすいので、お手入れの回数を、多くしてください。

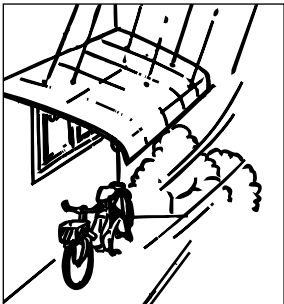
お願い

- シンナー等の有機溶剤は、使用しないでください。（塗装がはげたり、樹脂製部品が浸食されます。）
- サドルには、ワックスをかけないでください。（座ったとき衣服が汚れたり、すべります。）
- 長期間ご使用になるとバッテリーの取外しが固くなる場合があります。これは、車体側接続端子の表面に汚れや酸化物が付着し、バッテリー端子との滑りが悪くなるためです。バッテリーの取外しが固くなったときは、乾いた布で車体側接続端子の汚れや酸化物をふき取ってください。このとき、ショートするおそれがありますので、金属製の物は使用しないでください。


保 管 ／ 廃 棄

■ 保管場所

- 安定のよいところ。
- 風通しがよく、湿気の少ないところ。
- 雨つゆや直射日光が当たりにくいところ。



■ タイヤの管理

空気を十分に入れてください。
( 21ページ)

■ 長期間保管する場合

- ごみやほこりがつくのを防ぐため、「サイクルカバー（別売オプション）」の使用をおすすめします。（バッテリーの保存については37ページをご覧ください。）

サイクルカバー（別売オプション）
※SAR135～136
前後裾絞り（強力合成ゴム使用）
裾中央ナット棒止め


■ 廃棄するとき

自転車廃棄するときは、お住まいの地域のルールに従ってください。

注 油

警告

■ リムやブレーキブロック（ゴム部）には、油をつけない

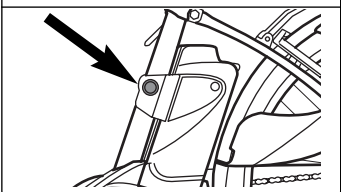
 プレーキが効かなくなり、衝突や転倒のおそれがあります。
注油禁止

 このマークは、注油場所を示します。

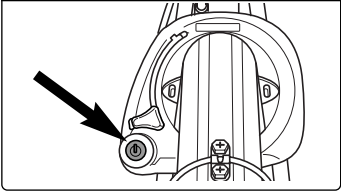
 このマークは、注油禁止場所を示します。

- ご注意**
- 油の種類は、必ず、防錆潤滑剤を使用してください。（食用油などは、硬化するおそれがあります。）
 - 余分な油は、乾いた布でふき取ってください。

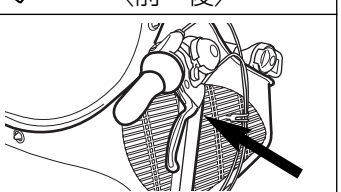
● バッテリーロック



● 後輪サークル錠




● ブレーキレバー〈前・後〉




レバーの可動部とワイヤの固定部に注油。（ワイヤがさびて、切れやすくなるのを防ぎます。）


キー穴に注油。
（さびによる動作不具合を防ぎます。）

 後ブレーキ


注油禁止

お願い


- メンテナンスをする場合は専用グリスを使用してください。（ 19ページ）

 前ブレーキ（ブレーキブロック）

注油禁止


 リム〈前・後〉

注油禁止

 タイヤ〈前・後〉

ついた油は、すぐふき取る。（ひび割れなど老化を防ぎます。）

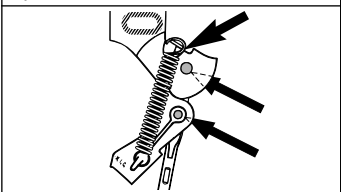
注油禁止

 チェーンケース

ついた油は、すぐふき取る。（変色や塗装がはげるのを防ぎます。）

注油禁止

● スタンド



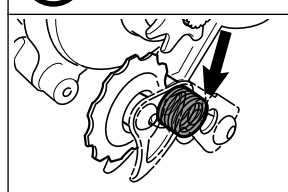
可動部に注油。
スタンドロックの裏側の2本のカシメ部分。
バネ引っ掛け部の上端。

● チェーン



クランクを回しながら注油。（サビやほこりがつくのを防ぎます。）

● テンションプーリー



お願い

- メンテナンスをする場合はグリスを使用してください。

テンションプーリーのバネ部にグリスを塗布。

必要なとき

必要なとき

定期点検

点検と整備は、電動ハイブリッド自転車の大切な健康診断です。いつまでも安全にお乗りいただくために、ご使用後初めての初回(2ヵ月目)点検と、6ヵ月毎の定期点検の実施をお願いします。

- 初回(2ヵ月目)の点検と整備
- 2回目以降(6ヵ月毎)の点検と整備

お買い求め2ヵ月位のご使用で、各部にねじのゆるみが出ることがあります。必ず、お買い求めの販売店又は修理代行店で、自転車安全整備士、自転車技士(自転車組立整備士)、もしくはそれと同等の技術を有する者により点検・整備をお受けください。

安全にご愛用頂くため、必ず継続してお受けください。

警告

定期点検は、必ず実施する

異常や故障の発見がおくれ事故の原因になります。

部品の交換は、次の基準で実施する

●ブレーキワイヤ・変速ワイヤは、異常がなくても2年に1回は、交換する。

●タイヤは、接地面(トレッド)の溝がなくなる前に交換する。

●ブレーキブロックは、溝の残りが、1mmになる前に交換する。

●ブレーキブロックは、リムにあった純正ブレーキブロックに交換する。

ブレーキが効かなくなったり、スリップのため転倒のおそれがあります。

愛情点検

定期点検をし、安全走行をしましょう！

こんな症状はありませんか

●異常音がする

●がたつきやゆるみ

●車輪の振れ

●ブレーキの効きが悪い

お願い

●点検・整備は、お買い上げの販売店で行ってください。

アフターサービス

修理を依頼されるとき

●保証期間中は、

お買い求めの販売店が、保証書の規定に従って、修理させていただきます。自転車に保証書を添えて、お買い求めの販売店までお持込みください。

●保証期間が過ぎた後は、

お買い求めの販売店にご相談ください。

盗難補償

盗難補償制度とは、電動ハイブリッド自転車をお買い求めいただいたお客様を対象に、ご購入日より3年以内に盗難にあわれた場合、盗難車の希望小売価格(税込)の30パーセントと組立手数料4,200円(税込)で、盗難車と同タイプの新車をお買い求めいただくことができる制度です。制度の詳細は下記の通りです。

ご購入時、保証書のお客様欄に必要事項をご記入され、盗難補償登録カードをご提出いただいたお客様に限り、次の内容により盗難補償がうけられます。

(1) 盗難補償の期間と範囲

お買い求めの日から3年間の自転車(別売部品等を含む装着部品の盗難は除く)かつ、盗難日より90日以内に申し込みいただいた場合に限ります。

(2) 盗難補償の内容

●お客様のご負担

①充電器を除く本体の希望小売価格(税込み)の30%

②組立手数料 4,200円(税込み)

(3) 盗難補償の申込み要領

●提出書類

①盗難にあった地区の警察署から交付を受けた証明になるもの(警察受理ナンバー又は盗難届出証明書等)

②盗難車の保証書

③盗難車のキー(3本)

④盗難補償申込書(販売店が用意いたします。)

●申込み先

お買い求めの販売店へ現金を添えて、お申し込みください。追って、販売店から新車をお渡しいたします。

(4) 盗難車の所有権

盗難車が発見された場合は、その所有権は当社に帰属することを同意の上お申し込みください。

(5) 盗難補償ができない場合

①(3)の書類がそろわない場合

②防犯登録がされてない場合

③補償期間が過ぎている場合

④景品などの贈呈品の場合

⑤盗難補償車が再度、盗難にあった場合

⑥盗難補償登録カードが返送されていない場合

⑦盗難車が見つかり、返ってきた場合

⑧無施錠で盗難された場合

ご注意

●生産等の都合で、同タイプの自転車をお届けできない場合がありますことをご了承願います。

点検整備済TSマーク(保険付き)のご紹介

普通自転車点検整備済

協日本交通管理技術協会

賠償責任・傷害保険付(1年間有効)

自転車安全整備士番号

点検 年 月 日

●工場出荷時に貼付しているTSマーク(13ページ参照)には、保険は付帯されていません。

●傷害保険と賠償責任保険が付帯された保険付きTSマーク(左図)が別にあり、お客様のご希望により貼付することができます。

●保険付きTSマークは、自転車安全整備店(TSマーク取扱店)で点検整備を行い、基準に適合した安全な自転車であることを確認した上で貼付することができます。

●費用や保険内容など詳細は、お買い求めの販売店もしくは自転車安全整備店(TSマーク取扱店)にご相談ください。

お願い

●点検 年 月 日が記入されていない場合は、必ず、お買い求めの販売店に記入してもらってください。記入されていない場合は、補償されないときがあります。

40

41

必要なとき

必要なとき

故障かな？！

まず、次の表に従ってお調べいただき、直らないときは、お求めの販売店に修理をご依頼ください。

| 症 状 | | 対処方法 | ページ |
|--------|--------------------------------------|--|-------|
| ペダルが重い | 手元スイッチのアシストランプ、残量表示ランプが点灯しない | ●バッテリーが確実に取り付けられていますか？ ⇨ バッテリーを確実に取り付けてください。 | 14～15 |
| | 手元スイッチの残量表示ランプが早い点滅をしたり、点灯しない | ●バッテリーの残量表示ボタンを押した時に、2・4番目のLEDランプが点滅すれば、保護機能が働いています。 ⇨ バッテリーを充電してください。 | — |
| | 手元スイッチの残量表示ランプとアシストランプが交互に1回ずつ点滅する | ●バッテリーの残量表示ボタンを押した時に、LEDランプがすべて点灯しない場合、保護回路が働いています。 ⇨ バッテリーを充電してください。 ※充電しても表示が戻らない場合は、販売店にご相談ください。 | — |
| | 手元スイッチの残量表示ランプが2回、アシストランプが1回の割合で点滅する | ●駆動ユニットの異常です。 ⇨ 販売店に修理をご依頼ください。 | 32 |
| | 手元スイッチの残量表示ランプは残量を表示するが、アシストランプが点滅する | ●駆動ユニットが過負荷のため、保護モードに入っています。 ⇨ 変速を軽にするなどを行い、軽負荷で走行してください。 ⇨ しばらくすると正常に戻ります。 ※保護モードに入るとアシスト力が制限されます。そのまま走行していただいても問題ありません。表示が戻らない場合は販売店にご相談ください。 | — |
| | 補助(アシスト)が切れたり入ったりする | ●配線がゆるんでいたり、端子が汚れていませんか？ ⇨ 販売店にご相談ください。 | — |
| 充電できない | 補助(アシスト)しない | ●停止して10分以上たっていないですか？(オートオフシステム) ⇨ 電源ボタンを押して、電源を入れ直してください。 | 32 |
| | バッテリーの残量表示ランプが点灯しない | ●バッテリーが正しく挿入されていますか？ 充電器のバッテリー挿入部がよごれていませんか？ ⇨ よごれを取り除き、バッテリーを正しく挿入してください。 ●満充電ではありませんか？ バッテリーの残量表示ボタンを押して、チェックしてください。 ⇨ 満充電からの再充電はできません。 一度使用してから、充電してください。 ●残量表示ボタンを押した時、LEDランプが流れるように点滅する場合はバッテリーの故障が考えられます。 ⇨ 販売店にご相談ください。 | 14～15 |

必要なとき

| 症 状 | | 対処方法 | ページ |
|---------|----------------------------|---|---------------------------------------|
| 走行距離が短い | 手元スイッチの残量表示ランプが短い走行で点滅を始める | ●充電ができていますか？ ●長期間使用せずに、放置されていませんか？ ⇨ バッテリーを充電してください。 ●初めて使用するバッテリーではないですか？ ⇨ バッテリーを充電してください。 ●道路条件や変速位置、苛酷な走行により、走行距離が、短くなります。 ●冬期は、バッテリーの特性上容量の低下が大きくなります。 ●タイヤの空気圧が低下していませんか？ ⇨ 自転車用ポンプを使って空気を入れてください。 ●ブレーキの調整は正しくできていますか？ ⇨ ブレーキの調整をしてください。 | 14～15 14～15 31 — 21 19 |
| | バッテリーや充電器が熱くなる(発火の心配) | ●充電中、充電器は多少熱くなります。 ⇨ 異常ではありません。 ●手で触れられないほど熱い場合は、異常です。 ⇨ ただちに使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。 | — — |
| | 充電が完了したのに残量表示ランプが5個全部点灯しない | ●充電途中で電源プラグを抜きませんでしたか？ ⇨ 再度充電してください。 ●充電器の端子が汚れていませんか？ ⇨ 乾いた布等で清掃してください。 ●長期間使用されたバッテリーですか？ ⇨ バッテリーの寿命です。販売店にご相談ください。 | 14～15 — — |
| | ペダルに振動を感じる | ●ペダルに足を乗せた状態での停車時に振動を感じる場合がありますが、モーター固有の特性ですので、故障ではありません。 | — |

おぼえのため、記入されると便利です。

| | |
|------|-----------------------|
| 販売店名 | 電 話 () — |
| 品 番 | 車体番号 |
| キー番号 | 防犯登録番号 |

必要なとき

～×毛～

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

- ## 必要なとき

